

真岡市の公共施設に関するアンケート結果

平成 29 年 11 月

真 岡 市

目次

1.	調査の目的・概要.....	1
2.	調査結果の概要.....	2
3.	単純集計.....	4
4.	クロス集計.....	15
4-1.	年齢別のクロス集計.....	15
4-2.	居住地区別のクロス集計.....	23
5.	自由意見.....	31
6.	参考資料.....	39

1. 調査の目的・概要

次のとおり、アンケート調査を実施しました。

目的	公共施設再配置計画の策定に当たり、公共施設に関する今後の取組みの方向性について、市民のニーズや意見を把握することを目的とします。 また、アンケートの実施を通して、公共施設の現状や課題、今後の取組みに対する情報共有と市民理解の醸成を図ります。
実施時期	平成 29 年 9 月 1 日～平成 29 年 9 月 19 日
対象者	真岡市内 3,000 世帯（住民基本台帳から無作為抽出）
回収数	1,332 枚（44.4%）
調査内容	問 1～2 真岡市の公共施設をとりまく現状と課題の認識 問 3 公共施設の再配置に対する賛否 問 4 優先して再配置すべき施設 問 5 公共施設の再配置に伴い、現在よりも不便になることへの理解 問 6 再配置に関連する具体的な方策に対する賛否 問 7 施設類型ごとの再配置に対する賛否 問 8 回答者の基本属性 問 9 自由回答

2. 調査結果の概要

問 1 公共施設の状況に対する認識について

- 真岡市の公共施設の状況について、約 6 割が認識しており、「よく知っていた」が 7.7%、「ある程度知っていた」が 50.5%となっています。
- 一方、「知らなかった」は 39.9%となっています。
- 年齢別のクロス集計の結果、年齢が高くなるにつれて、真岡市の公共施設の状況について認識が高くなっており、「60 歳以上」は約 7 割となっています。
- 居住地区別のクロス集計の結果、すべての地区において、真岡市の公共施設の状況について認識が高くなっており、約 6 割となっています。

問 2 公共施設の現状や課題への関心

- 真岡市の公共施設の現状や課題について、約 7 割が関心を持っており、「強い関心を持っている」が 9.5%、「ある程度関心を持っている」が 57.1%となっています。
- 一方、約 3 割は関心を持っておらず、「関心はない」が 3.9%、「あまり関心はない」が 21.2%となっています。
- 年齢別のクロス集計の結果、年齢が高くなるにつれて、真岡市の公共施設の現状や課題への関心が高くなっており、「50 歳代～60 歳代」が約 8 割となっています。
- 居住地区別のクロス集計の結果、すべての地区において、真岡市の公共施設の現状や課題への関心が高くなっており、約 6 割となっています。

問 3 公共施設の再配置に関する賛否

- 真岡市の公共施設の再配置について、約 8 割が賛成しており、「積極的に実施した方がよい」が 33.3%、「どちらかといえば実施した方がよい」が 42.6%となっています。
- 一方、「絶対に実施すべきではない」が 0.6%、「どちらかといえば実施すべきでない」が 4.2%となっています。
- 年齢別のクロス集計の結果、「30 歳代～60 歳代」の約 8 割が賛成しています。
- 居住地区別のクロス集計の結果、すべての地区において、賛成が約 8 割と高くなっています。

問 4 優先して再配置すべき施設

- 優先して再配置すべき施設は、「老朽化が著しい」が 67.4%と最も高く、次いで「あまり利用されていない施設」が 58.0%、「耐震性の無い施設」が 34.6%となっています。
- 一方、「民間施設でも同じサービスを提供している施設」は 8.5%、「利用者が限定される施設」は 12.8%となっています。
- 年齢別のクロス集計の結果、「耐震性が無い施設」について、「18 歳～40 歳代」は 4～5 割となっているのに対して、「50 歳以上」は約 3 割となっています。
- 年齢別のクロス集計の結果から、「50 歳代」では、「維持管理や運営に係るコストが高い施設」が約 4 割、「60 歳代」では、「市内で機能が類似・重複している施設」が約 4 割と他の年齢に比べ、高くなっています。
- 居住地区別のクロス集計の結果、顕著な特徴は見られませんでした。

問 5 現在より不便になることへの理解

- 現在よりも不便になることについて、約 9 割が理解を示しており、「受け入れられる」が 18.2%、「ある程度受け入れられる」が 72.7%となっています。
- 一方、「受け入れられない」が 7.0%となっています。
- 年齢別のクロス集計の結果、すべての年齢で、現在よりも不便になることについて、約 9 割が理解を示しています。
- 居住地区別のクロス集計の結果、すべての地区において、約 9 割が理解を示しています。

問 6 再配置に関連する具体的な方策

- 再配置に関連する具体的な方策について、全体的に賛成の割合が高くなっていますが、一部の方策については意見が 2 極化しています。
- 「施設総量の削減」は、約 6 割が賛成しています。
- 「施設の統廃合」は、約 8 割が賛成しています。
- 「施設の複合化・多機能化」は、約 8 割が賛成しています。
- 「施設の長寿命化」は、約 6 割が賛成しています。
- 「施設の譲渡」は、約 5 割が賛成しています。
- 「民間施設の借用」は、約 6 割が賛成しています。
- 「サービス水準の引下げ」は、約 4 割が賛成しています。一方、約 3 割が反対しています。
- 「民間へ貸付・売却」は、約 8 割が賛成しています。
- 「利用者負担の適正化」は、約 4 割が賛成しています。一方、約 3 割が反対しています。
- 「施設の広域連携」は、約 6 割が賛成しています。
- 「PPP/PFI の活用」は、約 6 割が賛成しています。
- 年齢別のクロス集計の結果、「施設総量の削減」、「サービス水準の引下げ」、「利用者負担の適正化」は、年齢が高くなるにつれて、再配置の賛成が高くなっています。
- 居住地区別のクロス集計の結果、「中村地区」では、「施設総量の削減」に賛成が、他の地区に比べ、約 6 割と低くなっています。

問 7 施設類型ごとの再配置

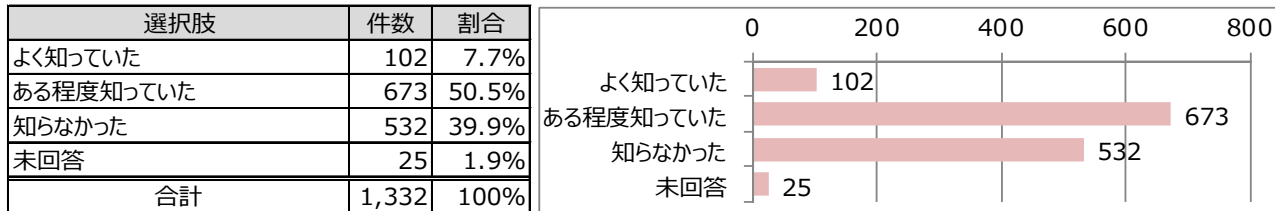
- 施設類型ごとの再配置の推進は、全体的に賛成する割合が高くなっていますが、一部の施設類型については意見が 2 極化しています。
- 「学校施設」は、約 5 割が賛成しています。一方、約 2 割が反対しています。
- 「スポーツ施設」は、約 6 割が賛成しています。一方、約 2 割が反対しています。
- 「文化施設」は、約 5 割が賛成しています。一方、約 2 割が反対しています。
- 「生涯学習施設」は、約 5 割が賛成しています。一方、約 2 割が反対しています。
- 「児童施設」は、約 4 割が賛成しています。一方、約 3 割が反対しています。
- 「福祉施設」は、約 4 割が賛成しています。一方、約 3 割が反対しています。
- 「行政施設」は、約 5 割が賛成しています。一方、約 2 割が反対しています。
- 「集会施設」は、約 4 割が賛成しています。一方、約 2 割が反対しています。
- 「消防施設」は、約 3 割が賛成しています。一方、約 3 割が反対しています。
- 「観光施設」は、約 4 割が賛成しています。一方、約 2 割が反対しています。
- 「公園施設」は、約 4 割が賛成しています。一方、約 3 割が反対しています。
- 年齢別のクロス集計の結果、「児童施設」は、「18 歳～30 歳代」の約 5 割が賛成しています。
- 年齢別のクロス集計の結果、「福祉施設」は、「60 歳以上」の約 5 割が賛成しています。
- 年齢別のクロス集計の結果、「公園施設」は、「18 歳～40 歳代」と「50 歳以上」で賛否が分かれており、「18 歳～40 歳代」の賛成が約 5 割に対して、「50 歳以上」の反対が約 4 割となっています。
- 居住地区別のクロス集計の結果、「大内地区」は、「学校施設」について、約 7 割が賛成しています。
- 居住地区別のクロス集計の結果、「山前地区」は、「文化施設」について、約 4 割が反対しています。

3. 単純集計

アンケートの単純集計結果は、次のとおりです。

問1 公共施設の状況に対する認識

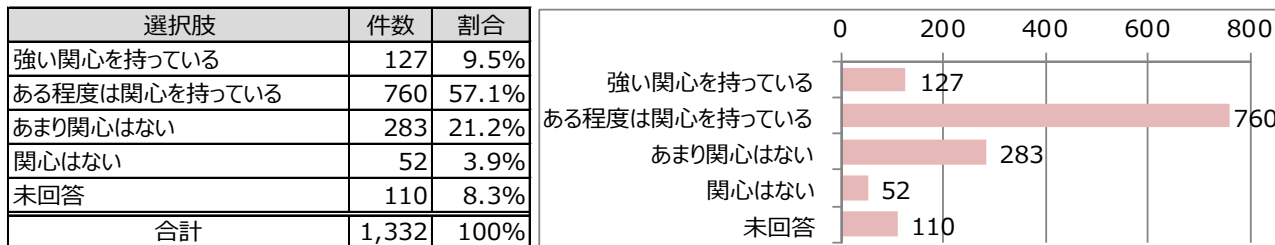
真岡市の公共施設の状況を以前からご存知でしたか？（○は1つ）



- 「よく知っていた」が102件（7.7%）、「ある程度知っていた」が673件（50.5%）であり、真岡市の公共施設の状況を知っていた方は、合計775件（58.2%）となっています。
- 一方、「知らなかった」は532件（39.9%）となっています。

問2 公共施設の現状や課題への関心

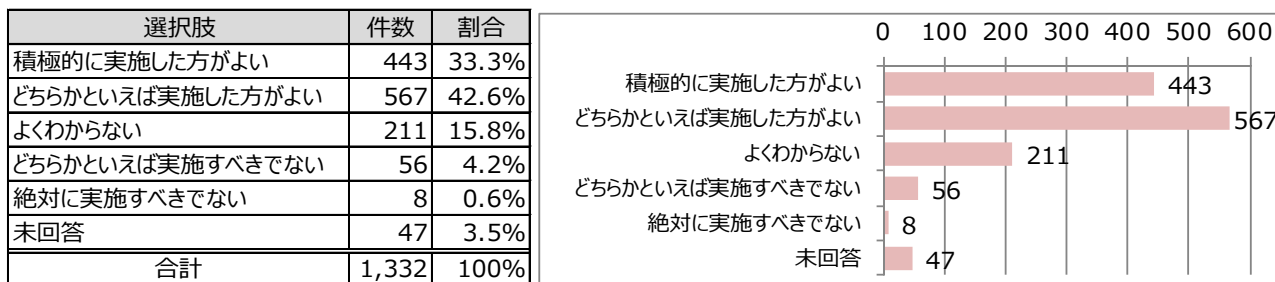
真岡市の公共施設の現状や課題について、どのくらい関心をお持ちになりましたか？（○は1つ）



- 「強い関心を持っている」が127件（9.5%）、「ある程度関心を持っている」が760件（57.1%）であり、真岡市の公共施設の現状や課題に関心がある方は、合計887件（66.6%）となっています。
- 一方、「関心はない」が52件（3.9%）、「あまり関心はない」が283件（21.2%）であり、真岡市の公共施設の現状や課題への関心がない方は、335件（25.1%）となっています。

問3 公共施設の再配置に関する賛否

公共施設の再配置について、あなたの考えに近いものを選んでください。（○は1つ）

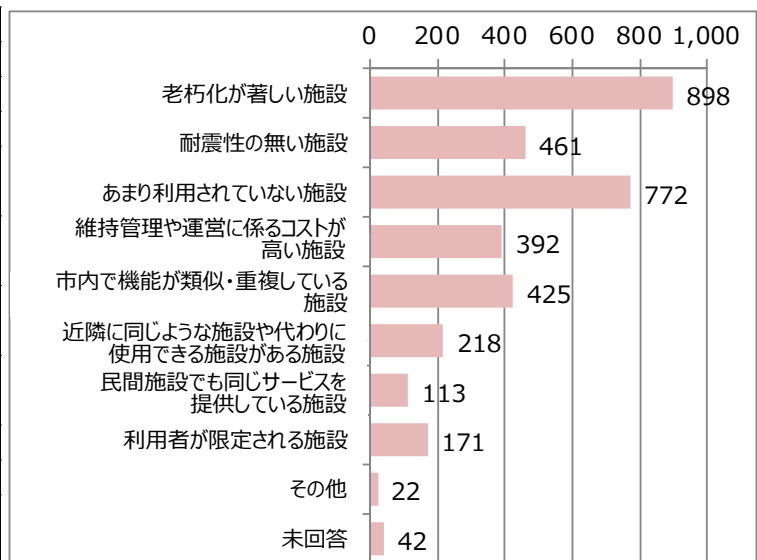


- 「積極的に実施した方がよい」が443件（33.3%）、「どちらかといえば実施した方がよい」が567件（42.6%）であり、公共施設の再配置に賛成の方は、合計1,010件（75.9%）となっています。
- 一方、「絶対に実施すべきではない」が8件（0.6%）、「どちらかといえば実施すべきでない」が56件（4.2%）であり、公共施設の再配置に反対の方は、合計64件（4.8%）となっています。

問 4 優先して再配置すべき施設

公共施設の再配置を検討する場合、どのような施設から進めるべきでしょうか？（○は3つまで）

選択肢	件数	割合
老朽化が著しい施設	898	67.4%
耐震性の無い施設	461	34.6%
あまり利用されていない施設	772	58.0%
維持管理や運営に係るコストが高い施設	392	29.4%
市内で機能が類似・重複している施設	425	31.9%
近隣に同じような施設や代わりに使用できる施設がある施設	218	16.4%
民間施設でも同じサービスを提供している施設	113	8.5%
利用者が限定される施設	171	12.8%
その他	22	1.7%
未回答	42	3.2%
母数	1,332	100%



【その他の内容】

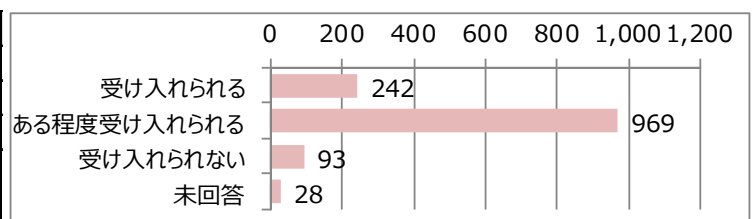
- ・火葬場 ・老人ホーム ・学校、福祉施設 ・福祉・子育てに関する施設 ・福祉施設など
- ・複合化により効率化・機能向上が図れる施設 ・利用客の多い施設 ・トレーニングルーム
- ・トイレ・おむつ替え台の状況にもよる。 ・理由が明確であれば何でもよい

- 「老朽化が著しい施設」が 898 件（67.4%）で最も多く、次いで「あまり利用されていない施設」が 772 件（58.0%）、「耐震性の無い施設」が 461 件（34.6%）となっています。
- 一方、「民間施設でも同じサービスを提供している施設」が 113 件（8.5%）で最も少なく、次いで「利用者が限定される施設」が 171 件（12.8%）となっています。

問 5 現在より不便になることへの理解

公共施設の再配置を進めると現在より不便になる可能性があります。あなたの考えに近いものを選んでください。（○は1つ）

選択肢	件数	割合
受け入れられる	242	18.2%
ある程度受け入れられる	969	72.7%
受け入れられない	93	7.0%
未回答	28	2.1%
合計	1,332	100%

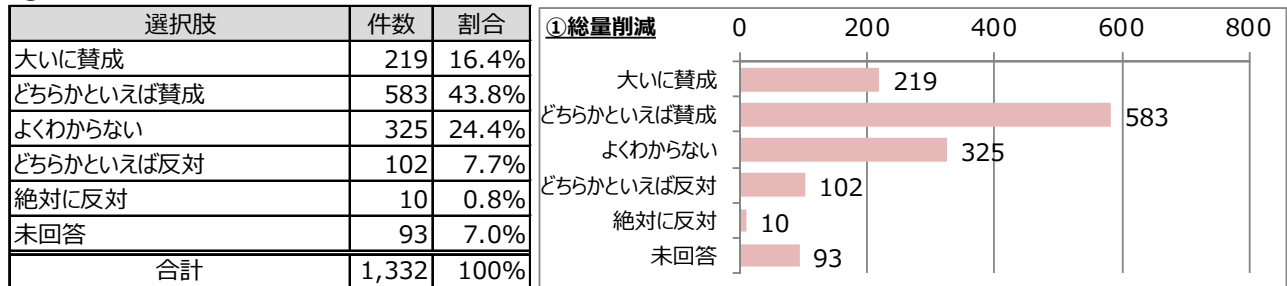


- 「受け入れられる」が 242 件（18.2%）、「ある程度受け入れられる」が 969 件（72.7%）であり、現在より不便になることを受け入れられる方は、合計 1,211 件（90.9%）となっています。
- 一方、「受け入れられない」が 93 件（7.0%）となっています。

問 6 再配置に関連する具体的な方策

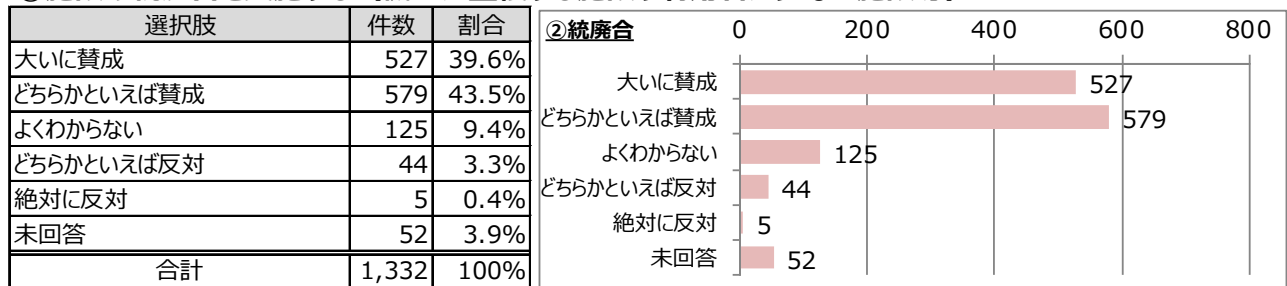
公共施設の再配置に関連する具体的な方策について、どのような考え方を重視すべきと考えますか？（○は1つ）

①施設の総量（施設数、延床面積）を減らす



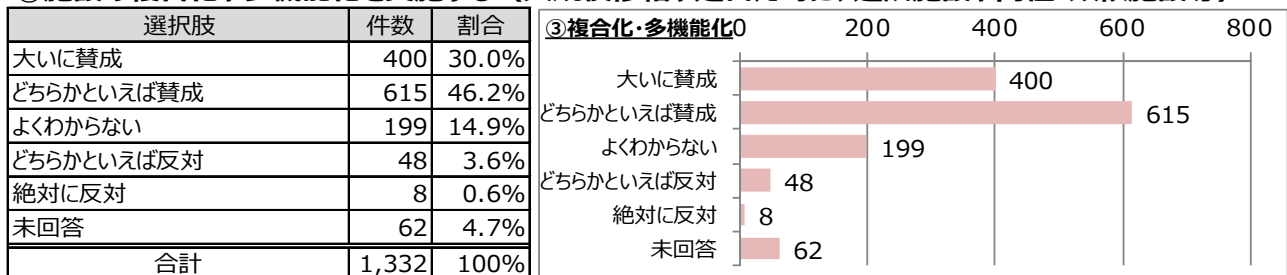
- 「大いに賛成」が219件（16.4%）、「どちらかといえば賛成」が583件（43.8%）であり、施設の総量削減に賛成の方は、合計802件（60.2%）となっています。
- 一方、「絶対に反対」が10件（0.8%）、「どちらかといえば反対」が102件（7.7%）であり、施設の総量削減に反対の方は、合計112件（8.5%）となっています。

②施設の統廃合を実施する（機能が重複する施設や利用者が少ない施設等）



- 「大いに賛成」が527件（39.6%）、「どちらかといえば賛成」が579件（43.5%）であり、施設の統廃合に賛成の方は、合計1,106件（83.1%）となっています。
- 一方、「絶対に反対」が5件（0.4%）、「どちらかといえば反対」が44件（3.3%）であり、施設の統廃合に反対の方は、合計49件（3.7%）となっています。

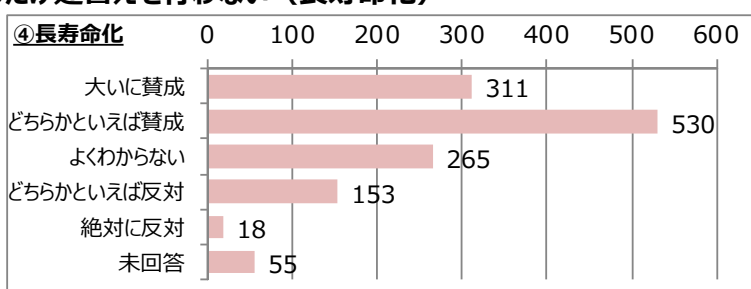
③施設の複合化や多機能化を実施する（大規模修繕や建替え時に、近隣施設や同種・類似施設等）



- 「大いに賛成」が400件（30.0%）、「どちらかといえば賛成」が615件（46.2%）であり、施設の複合化・多機能化に賛成の方は、合計1,015件（76.2%）となっています。
- 一方、「絶対に反対」が8件（0.6%）、「どちらかといえば反対」が48件（3.6%）であり、施設の複合化・多機能化に反対の方は、合計56件（4.2%）となっています。

④適切な修繕等により長持ちさせて、できるだけ建替えを行わない（長寿命化）

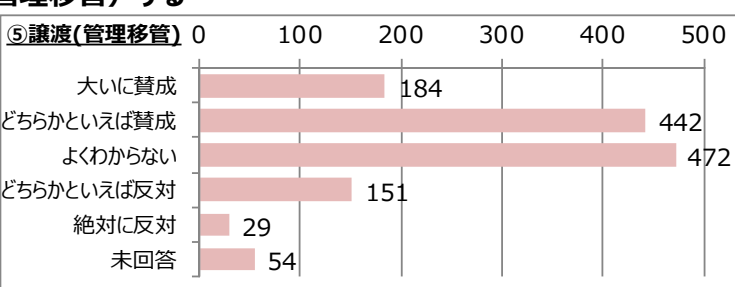
選択肢	件数	割合
大いに賛成	311	23.3%
どちらかといえば賛成	530	39.8%
よくわからない	265	19.9%
どちらかといえば反対	153	11.5%
絶対に反対	18	1.4%
未回答	55	4.1%
合計	1,332	100%



- 「大いに賛成」が311件（23.3%）、「どちらかといえば賛成」が530件（39.8%）であり、施設の長寿命化に賛成の方は、合計841件（63.1%）となっています。
- 一方、「絶対に反対」が18件（1.4%）、「どちらかといえば反対」が153件（11.5%）であり、施設の長寿命化に反対の方は、合計171件（12.9%）となっています。

⑤地域自治会や民間団体へ施設を譲渡（管理移管）する

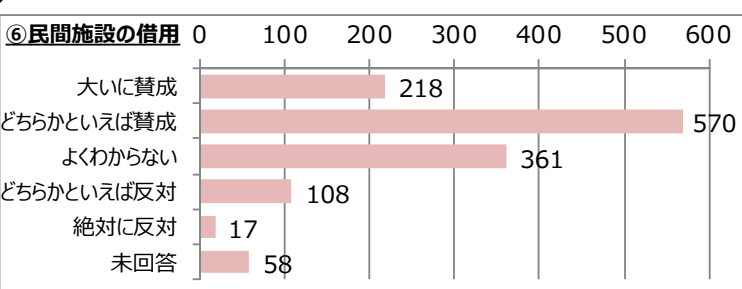
選択肢	件数	割合
大いに賛成	184	13.8%
どちらかといえば賛成	442	33.2%
よくわからない	472	35.4%
どちらかといえば反対	151	11.3%
絶対に反対	29	2.2%
未回答	54	4.1%
合計	1,332	100%



- 「大いに賛成」が184件（13.8%）、「どちらかといえば賛成」が442件（33.2%）であり、施設の管理移管に賛成の方は、合計626件（47.0%）となっています。
- 一方、「絶対に反対」が29件（2.2%）、「どちらかといえば反対」が151件（11.3%）であり、施設の管理移管に反対の方は、合計180件（13.5%）となっています。

⑥民間施設を借りて市のサービスを提供する

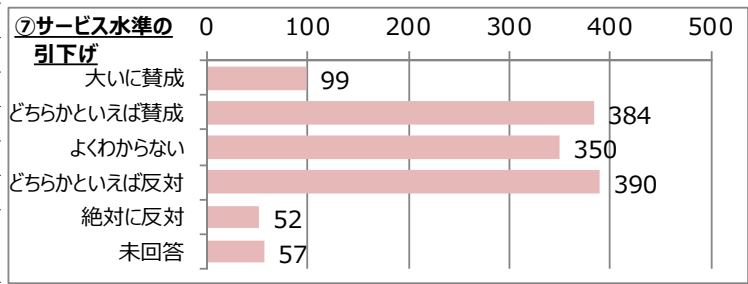
選択肢	件数	割合
大いに賛成	218	16.4%
どちらかといえば賛成	570	42.8%
よくわからない	361	27.1%
どちらかといえば反対	108	8.1%
絶対に反対	17	1.3%
未回答	58	4.4%
合計	1,332	100%



- 「大いに賛成」が218件（16.4%）、「どちらかといえば賛成」が570件（42.8%）であり、民間施設の借用に賛成の方は、合計788件（59.2%）となっています。
- 一方、「絶対に反対」が17件（1.3%）、「どちらかといえば反対」が108件（8.1%）であり、民間施設の借用に反対の方は、合計125件（9.4%）となっています。

⑦公共施設の施設サービスの水準を下げる（利用に支障がない範囲で）

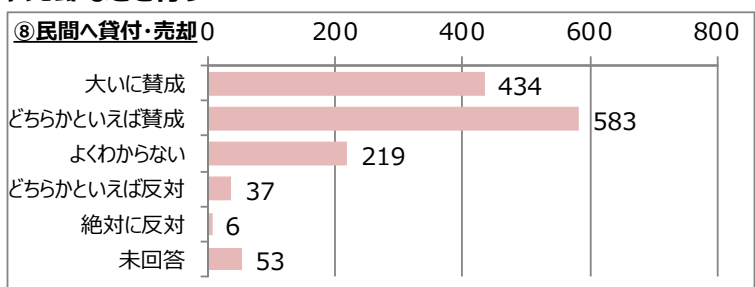
選択肢	件数	割合
大いに賛成	99	7.4%
どちらかといえば賛成	384	28.8%
よくわからない	350	26.3%
どちらかといえば反対	390	29.3%
絶対に反対	52	3.9%
未回答	57	4.3%
合計	1,332	100%



- 「大いに賛成」が99件（7.4%）、「どちらかといえば賛成」が384件（28.8%）であり、施設のサービス水準の引き下げに賛成の方は、合計483件（36.2%）となっています。
- 一方、「絶対に反対」が52件（3.9%）、「どちらかといえば反対」が390件（29.3%）であり、施設のサービス水準の引き下げに反対の方は、合計442件（33.2%）となっています。

⑧利用を停止する施設は、民間への貸出しや売却などを行う

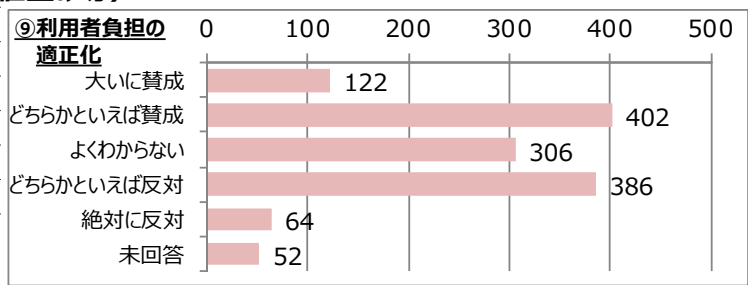
選択肢	件数	割合
大いに賛成	434	32.6%
どちらかといえば賛成	583	43.8%
よくわからない	219	16.4%
どちらかといえば反対	37	2.8%
絶対に反対	6	0.5%
未回答	53	4.0%
合計	1,332	100%



- 「大いに賛成」が434件（32.6%）、「どちらかといえば賛成」が583件（43.8%）であり、利用を停止する施設の民間へ貸付・売却に賛成の方は、合計1,017件（76.4%）となっています。
- 一方、「絶対に反対」が6件（0.5%）、「どちらかといえば反対」が37件（2.8%）であり、利用を停止する施設の民間へ貸付・売却に反対の方は、合計43件（3.3%）となっています。

⑨利用者負担の適正化を行う（使用料の値上げ等）

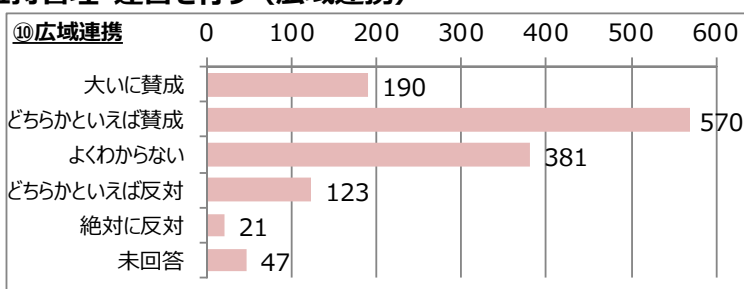
選択肢	件数	割合
大いに賛成	122	9.2%
どちらかといえば賛成	402	30.2%
よくわからない	306	23.0%
どちらかといえば反対	386	29.0%
絶対に反対	64	4.8%
未回答	52	3.9%
合計	1,332	100%



- 「大いに賛成」が122件（9.2%）、「どちらかといえば賛成」が402件（30.2%）であり、利用者負担の適正化に賛成の方は、合計524件（39.4%）となっています。
- 一方、「絶対に反対」が64件（4.8%）、「どちらかといえば反対」が386件（29.0%）であり、利用者負担の適正化に反対の方は、合計450件（33.8%）となっています。

⑩ 近隣の自治体と共同で、施設の建設や維持管理・運営を行う（広域連携）

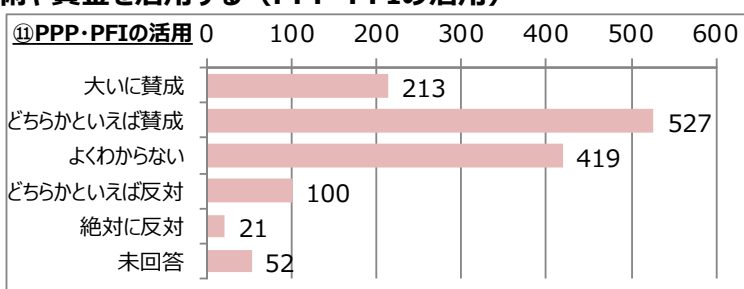
選択肢	件数	割合
大いに賛成	190	14.3%
どちらかといえば賛成	570	42.8%
よくわからない	381	28.6%
どちらかといえば反対	123	9.2%
絶対に反対	21	1.6%
未回答	47	3.5%
合計	1,332	100%



- 「大いに賛成」が190件（14.3%）、「どちらかといえば賛成」が570件（42.8%）であり、広域連携に賛成の方は、合計760件（57.1%）となっています。
- 一方、「絶対に反対」が21件（1.6%）、「どちらかといえば反対」が123件（9.2%）であり、広域連携に反対の方は、合計144件（10.8%）となっています。

⑪ 民間に維持管理を任せるなど、民間の技術や資金を活用する（PPP・PFIの活用）

選択肢	件数	割合
大いに賛成	213	16.0%
どちらかといえば賛成	527	39.6%
よくわからない	419	31.5%
どちらかといえば反対	100	7.5%
絶対に反対	21	1.6%
未回答	52	3.9%
合計	1,332	100%



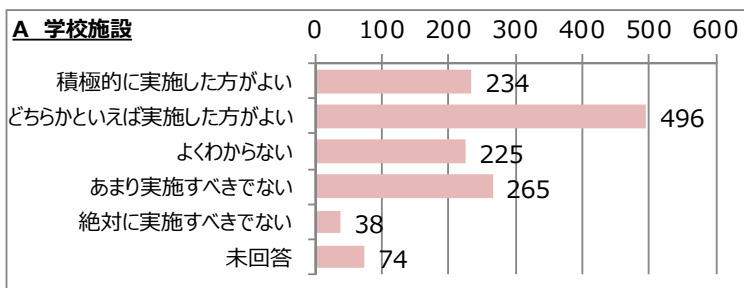
- 「大いに賛成」が213件（16.0%）、「どちらかといえば賛成」が527件（39.6%）であり、PPP・PFIの活用に賛成の方は、合計740件（55.6%）となっています。
- 一方、「絶対に反対」が21件（1.6%）、「どちらかといえば反対」が100件（7.5%）であり、PPP・PFIの活用に反対の方は、合計121件（9.1%）となっています。

問 7 施設類型ごとの再配置

施設類型ごとに再配置の推進を考えた場合、あなたの考えに近いものを選んでください。(○は1つ)

A 学校施設

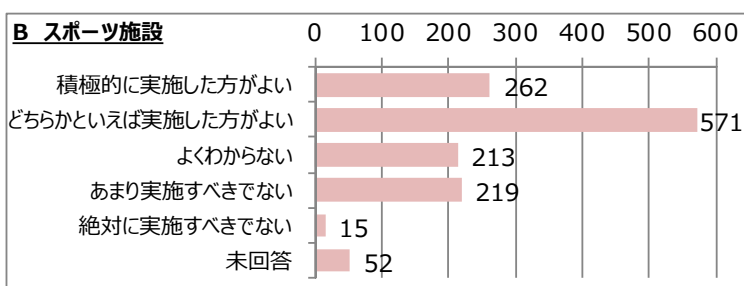
選択肢	件数	割合
積極的に実施した方がよい	234	17.6%
どちらかといえば実施した方がよい	496	37.2%
よくわからない	225	16.9%
あまり実施すべきでない	265	19.9%
絶対に実施すべきでない	38	2.9%
未回答	74	5.6%
合計	1,332	100%



- 「積極的に実施した方がよい」が 234 件 (17.6%)、「どちらかといえば実施した方がよい」が 496 件 (37.2%) であり、学校施設の再配置に賛成の方は、合計 730 件 (54.8%) となっています。
- 一方、「絶対に実施すべきでない」が 38 件 (2.9%)、「あまり実施すべきでない」が 265 件 (19.9%) であり、学校施設の再配置に反対の方は、合計 303 件 (22.8%) となっています。

B スポーツ施設

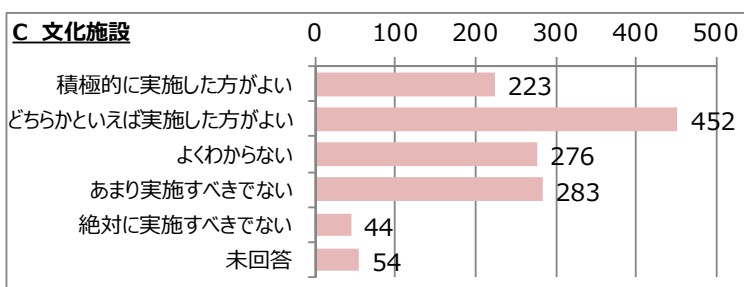
選択肢	件数	割合
積極的に実施した方がよい	262	19.7%
どちらかといえば実施した方がよい	571	42.9%
よくわからない	213	16.0%
あまり実施すべきでない	219	16.4%
絶対に実施すべきでない	15	1.1%
未回答	52	3.9%
合計	1,332	100%



- 「積極的に実施した方がよい」が 262 件 (19.7%)、「どちらかといえば実施した方がよい」が 571 件 (42.9%) であり、スポーツ施設の再配置に賛成の方は、合計 833 件 (62.6%) となっています。
- 一方、「絶対に実施すべきでない」が 15 件 (1.1%)、「あまり実施すべきでない」が 219 件 (16.4%) であり、スポーツ施設の再配置に反対の方は、合計 234 件 (17.5%) となっています。

C 社会文化施設 (文化施設)

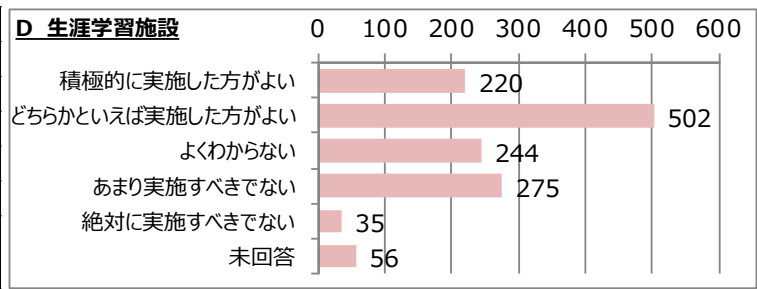
選択肢	件数	割合
積極的に実施した方がよい	223	16.7%
どちらかといえば実施した方がよい	452	33.9%
よくわからない	276	20.7%
あまり実施すべきでない	283	21.2%
絶対に実施すべきでない	44	3.3%
未回答	54	4.1%
合計	1,332	100%



- 「積極的に実施した方がよい」が 223 件 (16.7%)、「どちらかといえば実施した方がよい」が 452 件 (33.9%) であり、文化施設の再配置に賛成の方は、合計 675 件 (50.6%) となっています。
- 一方、「絶対に実施すべきでない」が 44 件 (3.3%)、「あまり実施すべきでない」が 283 件 (21.2%) であり、文化施設の再配置に反対の方は、合計 327 件 (24.5%) となっています。

D 社会文化施設（生涯学習施設）

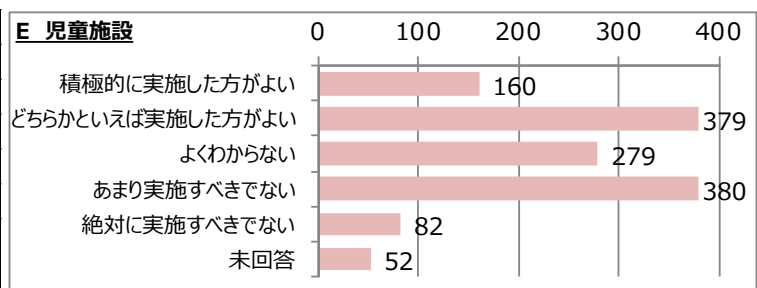
選択肢	件数	割合
積極的に実施した方がよい	220	16.5%
どちらかといえば実施した方がよい	502	37.7%
よくわからない	244	18.3%
あまり実施すべきでない	275	20.6%
絶対に実施すべきでない	35	2.6%
未回答	56	4.2%
合計	1,332	100%



- 「積極的に実施した方がよい」が220件（16.5%）、「どちらかといえば実施した方がよい」が502件（37.7%）であり、生涯学習施設の再配置に賛成の方は、合計722件（54.2%）となっています。
- 一方、「絶対に実施すべきでない」が35件（2.6%）、「あまり実施すべきでない」が275件（20.6%）であり、生涯学習施設の再配置に反対の方は、合計310件（23.2%）となっています。

E 児童施設

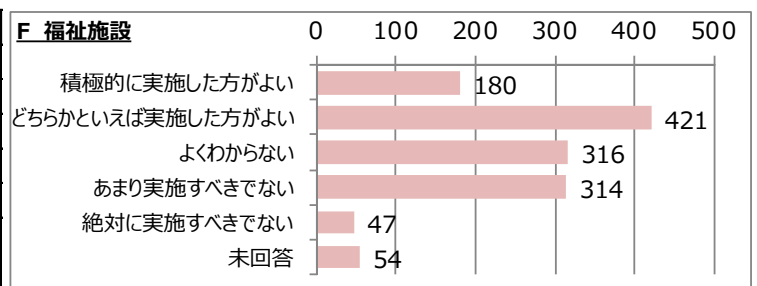
選択肢	件数	割合
積極的に実施した方がよい	160	12.0%
どちらかといえば実施した方がよい	379	28.5%
よくわからない	279	20.9%
あまり実施すべきでない	380	28.5%
絶対に実施すべきでない	82	6.2%
未回答	52	3.9%
合計	1,332	100%



- 「積極的に実施した方がよい」が160件（12.0%）、「どちらかといえば実施した方がよい」が379件（28.5%）であり、児童施設の再配置に賛成の方は、合計539件（40.5%）となっています。
- 一方、「絶対に実施すべきでない」が82件（6.2%）、「あまり実施すべきでない」が380件（28.5%）であり、児童施設の再配置に反対の方は、合計462件（34.7%）となっています。

F 福祉施設

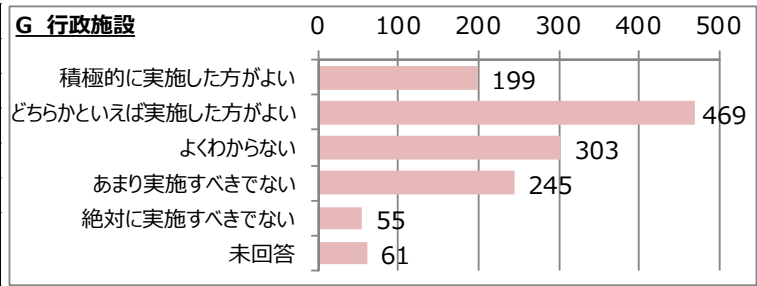
選択肢	件数	割合
積極的に実施した方がよい	180	13.5%
どちらかといえば実施した方がよい	421	31.6%
よくわからない	316	23.7%
あまり実施すべきでない	314	23.6%
絶対に実施すべきでない	47	3.5%
未回答	54	4.1%
合計	1,332	100%



- 「積極的に実施した方がよい」が180件（13.5%）、「どちらかといえば実施した方がよい」が421件（31.6%）であり、福祉施設の再配置に賛成の方は、合計601件（45.1%）となっています。
- 一方、「絶対に実施すべきでない」が47件（3.5%）、「あまり実施すべきでない」が314件（23.6%）であり、福祉施設の再配置に反対の方は、合計361件（27.1%）となっています。

G 行政施設

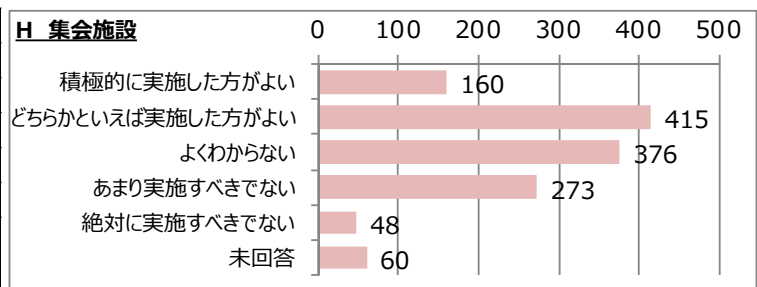
選択肢	件数	割合
積極的に実施した方がよい	199	14.9%
どちらかといえば実施した方がよい	469	35.2%
よくわからない	303	22.7%
あまり実施すべきでない	245	18.4%
絶対に実施すべきでない	55	4.1%
未回答	61	4.6%
合計	1,332	100%



- 「積極的に実施した方がよい」が199件(14.9%)、「どちらかといえば実施した方がよい」が469件(35.2%)であり、行政施設の再配置に賛成の方は、合計668件(50.1%)となっています。
- 一方、「絶対に実施すべきでない」が55件(4.1%)、「あまり実施すべきでない」が245件(18.4%)であり、行政施設の再配置に反対の方は、合計300件(22.5%)となっています。

H 集会施設（物産館等）

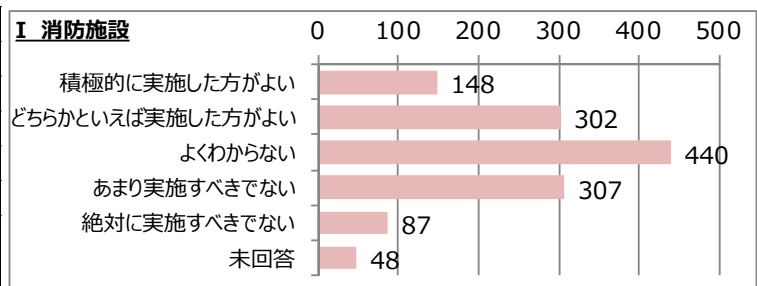
選択肢	件数	割合
積極的に実施した方がよい	160	12.0%
どちらかといえば実施した方がよい	415	31.2%
よくわからない	376	28.2%
あまり実施すべきでない	273	20.5%
絶対に実施すべきでない	48	3.6%
未回答	60	4.5%
合計	1,332	100%



- 「積極的に実施した方がよい」が160件(12.0%)、「どちらかといえば実施した方がよい」が415件(31.2%)であり、集会施設の再配置に賛成の方は、合計575件(43.2%)となっています。
- 一方、「絶対に実施すべきでない」が48件(3.6%)、「あまり実施すべきでない」が273件(20.5%)であり、集会施設の再配置に反対の方は、合計321件(24.1%)となっています。

I 消防施設

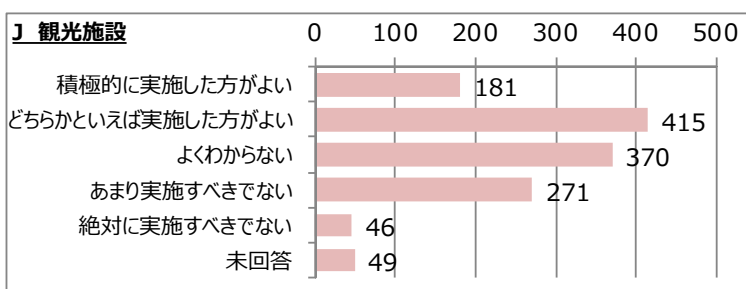
選択肢	件数	割合
積極的に実施した方がよい	148	11.1%
どちらかといえば実施した方がよい	302	22.7%
よくわからない	440	33.0%
あまり実施すべきでない	307	23.0%
絶対に実施すべきでない	87	6.5%
未回答	48	3.6%
合計	1,332	100%



- 「積極的に実施した方がよい」が148件(11.1%)、「どちらかといえば実施した方がよい」が302件(22.7%)であり、消防施設の再配置に賛成の方は、合計450件(33.8%)となっています。
- 一方、「絶対に実施すべきでない」が87件(6.5%)、「あまり実施すべきでない」が307件(23.0%)であり、消防施設の再配置に反対の方は、合計394件(29.5%)となっています。

J 観光施設

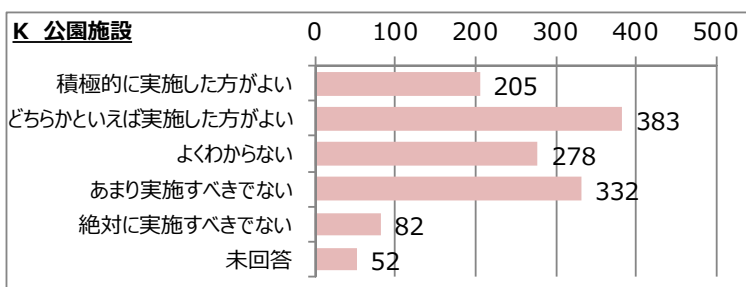
選択肢	件数	割合
積極的に実施した方がよい	181	13.6%
どちらかといえば実施した方がよい	415	31.2%
よくわからない	370	27.8%
あまり実施すべきでない	271	20.3%
絶対に実施すべきでない	46	3.5%
未回答	49	3.7%
合計	1,332	100%



- 「積極的に実施した方がよい」が181件(13.6%)、「どちらかといえば実施した方がよい」が415件(31.2%)であり、観光施設の再配置に賛成の方は、合計596件(44.8%)となっています。
- 一方、「絶対に実施すべきでない」が46件(3.5%)、「あまり実施すべきでない」が271件(20.3%)であり、観光施設の再配置に反対の方は、合計317件(23.8%)となっています。

K 公園施設

選択肢	件数	割合
積極的に実施した方がよい	205	15.4%
どちらかといえば実施した方がよい	383	28.8%
よくわからない	278	20.9%
あまり実施すべきでない	332	24.9%
絶対に実施すべきでない	82	6.2%
未回答	52	3.9%
合計	1,332	100%



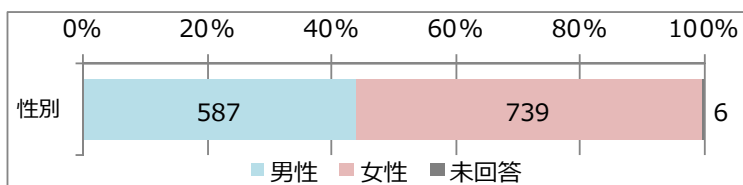
- 「積極的に実施した方がよい」が205件(15.4%)、「どちらかといえば実施した方がよい」が383件(28.8%)であり、公園施設の再配置に賛成の方は、合計588件(44.2%)となっています。
- 一方、「絶対に実施すべきでない」が82件(6.2%)、「あまり実施すべきでない」が332件(24.9%)であり、公園施設の再配置に反対の方は、合計414件(31.1%)となっています。

問 8 回答者の属性

各設問について、当てはまる項目を選んでください。(○は1つ)

①性別

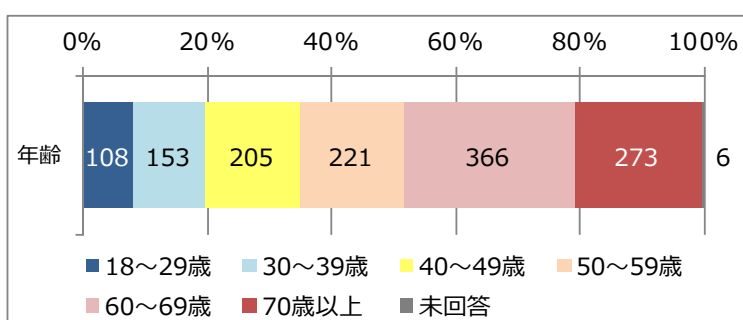
選択肢	件数	割合
男性	587	44.1%
女性	739	55.5%
未回答	6	0.5%
合計	1,332	100%



○「男性」が587件(44.1%)、「女性」が739件(55.5%)となっています。

②年齢

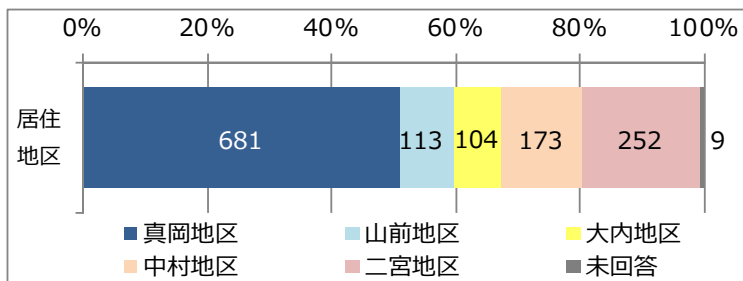
選択肢	件数	割合
18～29歳	108	8.1%
30～39歳	153	11.5%
40～49歳	205	15.4%
50～59歳	221	16.6%
60～69歳	366	27.5%
70歳以上	273	20.5%
未回答	6	0.5%
合計	1,332	100%



○「60～69歳」が366件(27.5%)で最も多く、次いで「70歳以上」が273件(20.5%)、「50～59歳」が221件(16.6%)となっています。

③居住地区

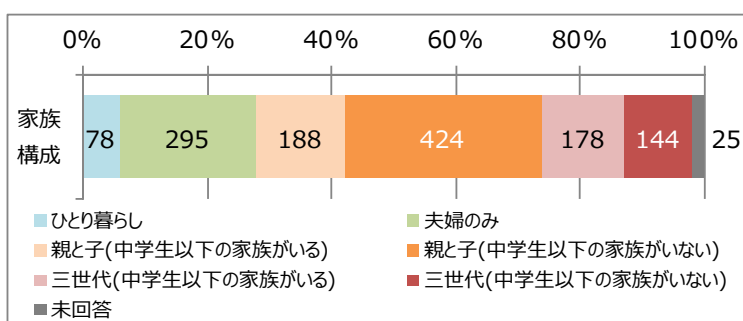
選択肢	件数	割合
真岡地区	681	51.1%
山前地区	113	8.5%
大内地区	104	7.8%
中村地区	173	13.0%
二宮地区	252	18.9%
未回答	9	0.7%
合計	1,332	100%



○「真岡地区」が681件(51.1%)で最も多く、次いで「二宮地区」が252件(18.9%)、「中村地区」が173件(13.0%)となっています。

④家族構成

選択肢	件数	割合
ひとり暮らし	78	5.9%
夫婦のみ	295	22.1%
親と子(中学生以下の家族がいる)	188	14.1%
親と子(中学生以下の家族がいない)	424	31.8%
三世代(中学生以下の家族がいる)	178	13.4%
三世代(中学生以下の家族がいない)	144	10.8%
未回答	25	1.9%
合計	1,332	100%



○「親と子(中学生以下の家族がいない)」が424件(31.8%)で最も多く、次いで「夫婦のみ」が295件(22.1%)、「親と子(中学生以下の家族がいる)」が188件(14.1%)となっています。

4. クロス集計

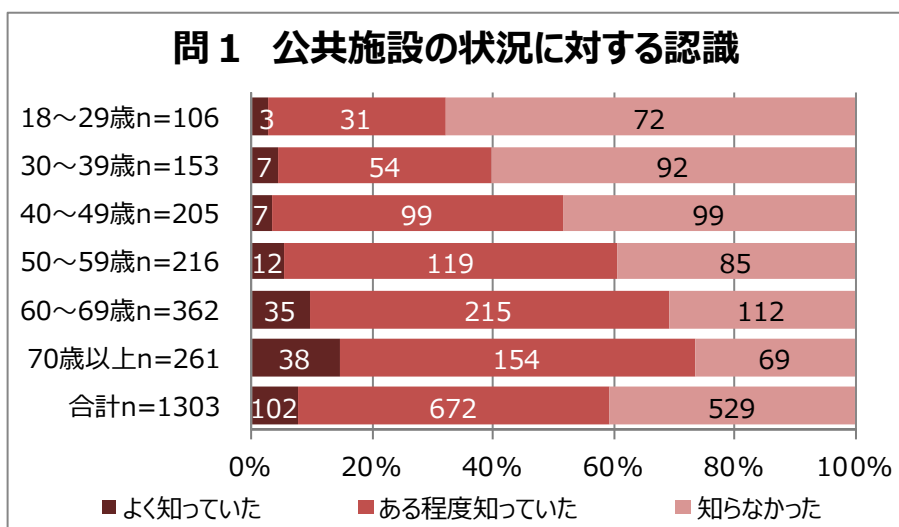
4-1. 年齢別のクロス集計

公共施設に関する市民意識について、年齢による傾向を分析するために、問1～問7についてクロス集計を行いました。結果は以下のとおりです。

※未回答は除いて集計しています。

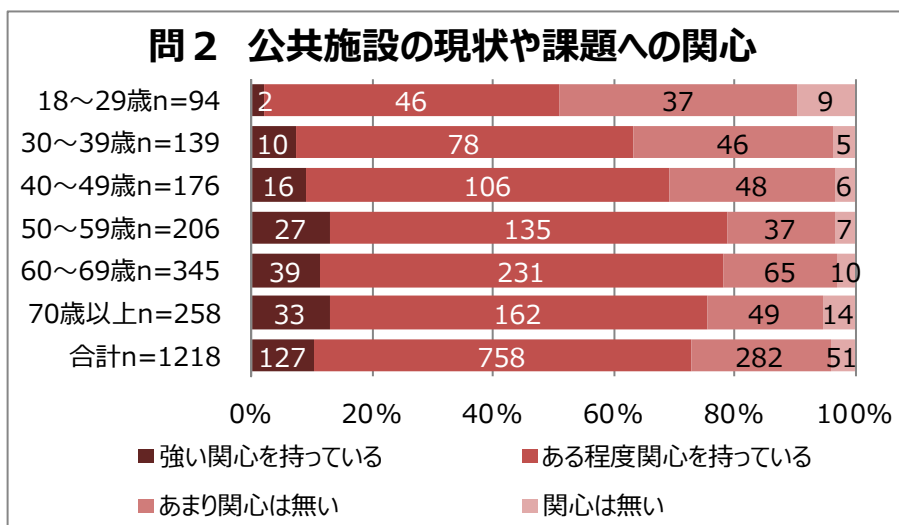
問1 公共施設の状況に対する認識

- 年齢が高くなるにつれて、公共施設の状況に対する認識がある（「よく知っていた」と「ある程度知っていた」の合計）は、増加傾向にあります。特に、「60歳以上」では、約7割が公共施設の状況を認識しています。
- 一方、「18～29歳」では、約3割と最も低くなっています。



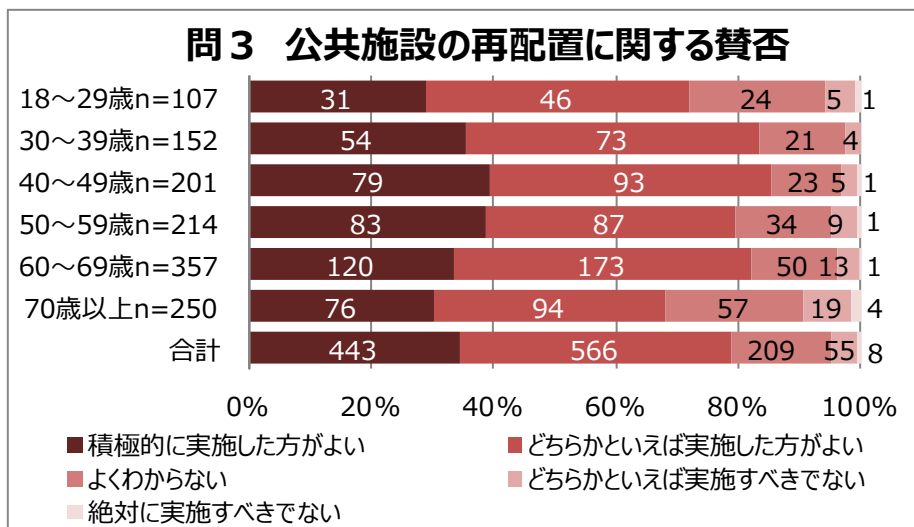
問2 公共施設の現状や課題への関心

- 年齢が高くなるにつれて、公共施設の現状や課題への関心がある（「強い関心を持っている」と「ある程度関心を持っている」の合計）は、増加傾向にあります。特に、「50歳代～60歳代」は、他の年齢に比べ、約8割と高くなっています。
- 「18～29歳」では、約5割、「30歳代」では、約6割、「40歳代」では、約7割となっています。



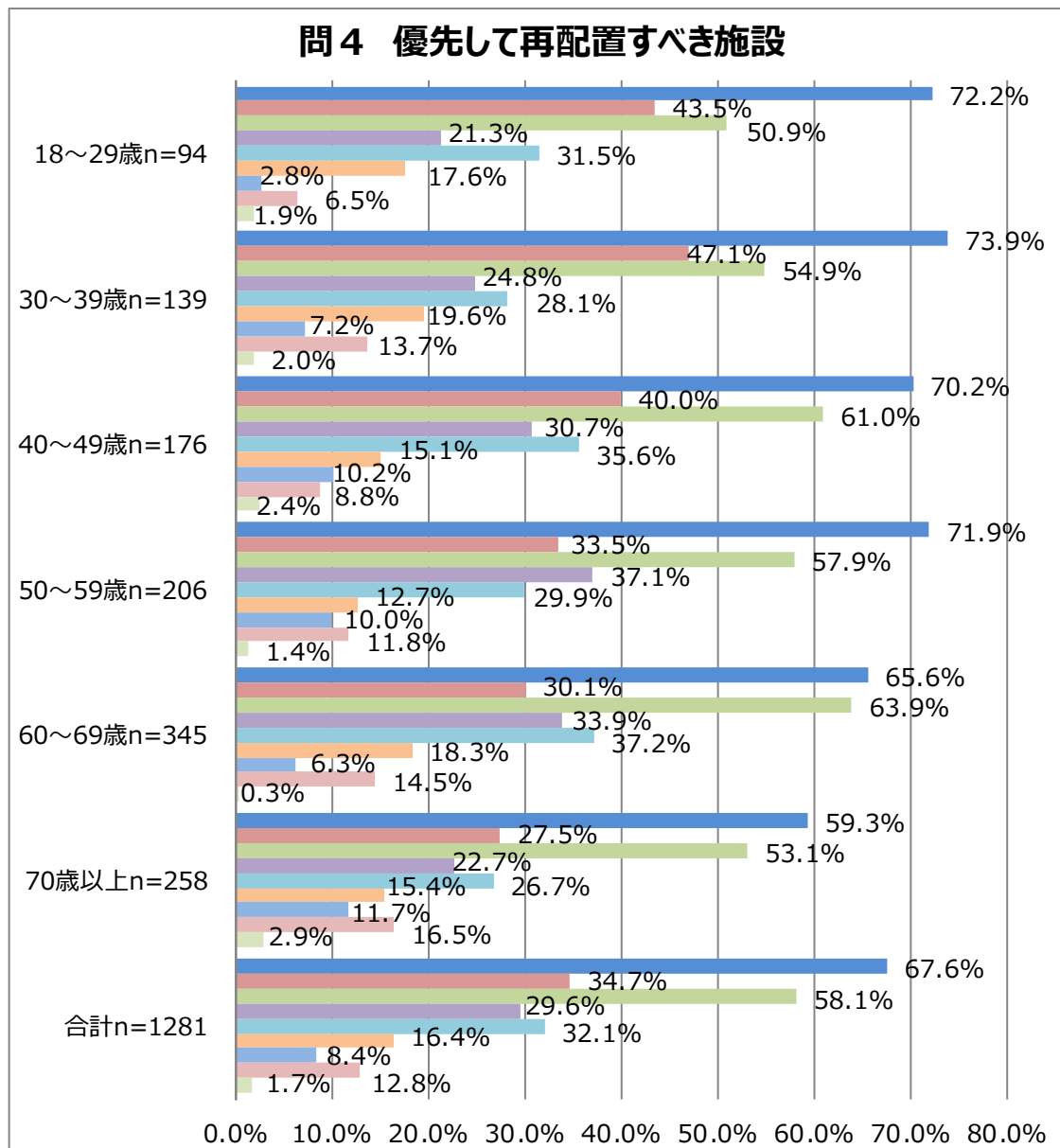
問3 公共施設の再配置に関する賛否

- 「30歳代～60歳代」では、再配置に賛成（「積極的に実施した方がよい」と「どちらかといえば実施した方がよい」の合計）は、約8割と高くなっています。
- 一方、「18～29歳」と「70歳以上」では、再配置に賛成が7割程度となっています。



問4 優先して再配置すべき施設

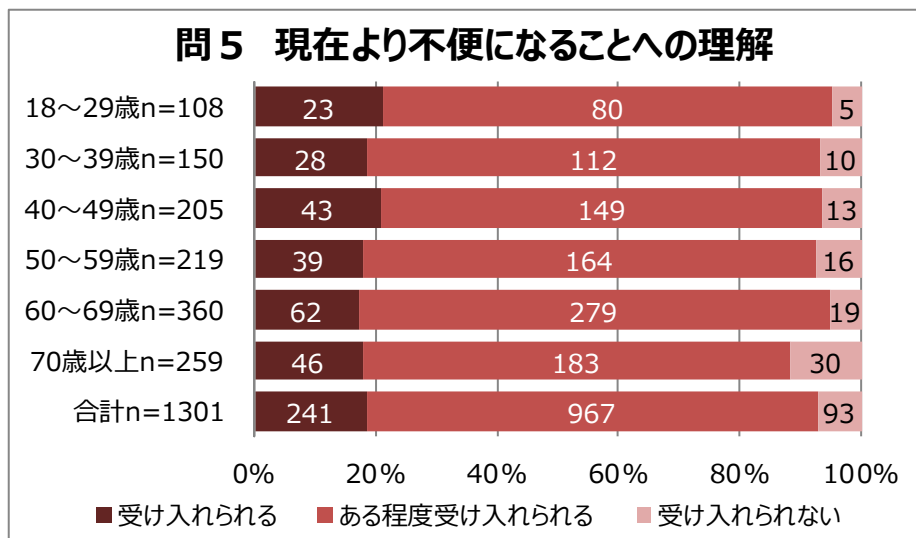
- すべての年齢において、「老朽化が著しい施設」が6～7割と最も高く、次いで「あまり利用されていない施設」が5～6割となっています。
- 「18歳～40歳代」では、「耐震性の無い施設」が4～5割となっており、「50歳以上」と比べ、高くなっています。
- 「50歳代」では、「維持管理や運営に係るコストが高い施設」が他の年齢に比べ、約4割と高くなっています。
- 「60歳代」では、「市内で機能が類似・重複している施設」が他の年齢に比べ、約4割と高くなっています。



- 老朽化が著しい施設
- あまり利用されていない施設
- 市内で機能が類似・重複している施設
- 民間施設でも同じサービスを提供している施設
- 耐震性の無い施設
- 維持管理や運営に係るコストが高い施設
- 近隣に同じような施設や代わりに使用できる施設がある施設
- 利用者が限定される施設
- その他

問5 現在より不便になることへの理解

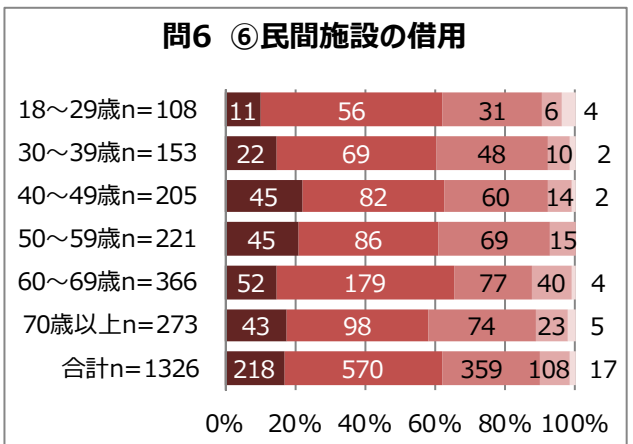
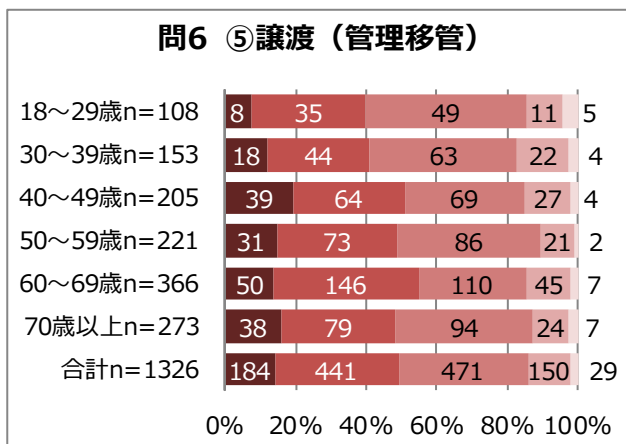
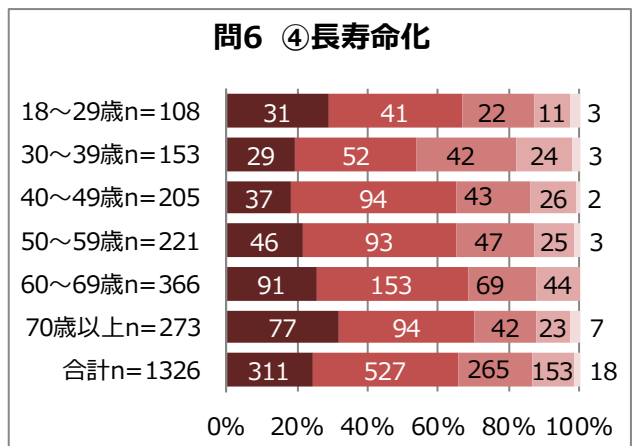
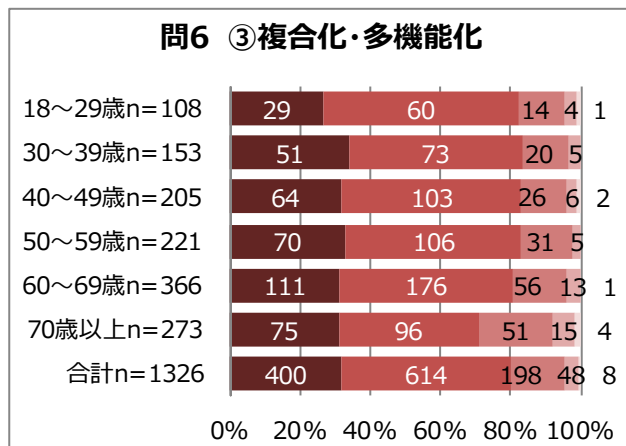
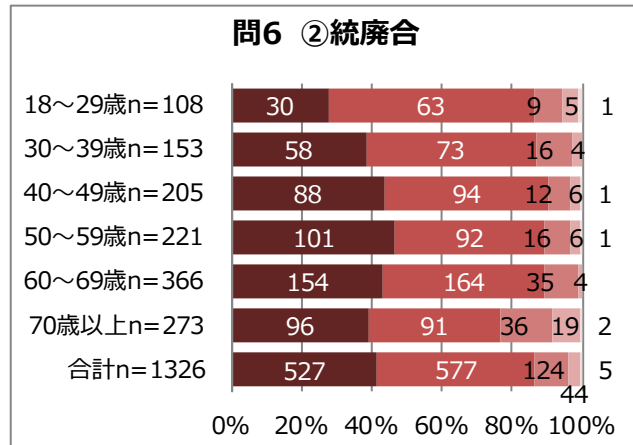
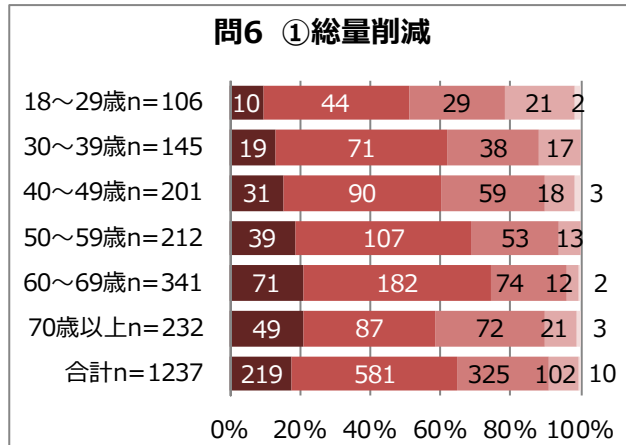
○すべての年齢において、現在より不便になることへ受け入れられる（「受け入れられる」と「ある程度受け入れられる」の合計）は、約9割と高くなっています。



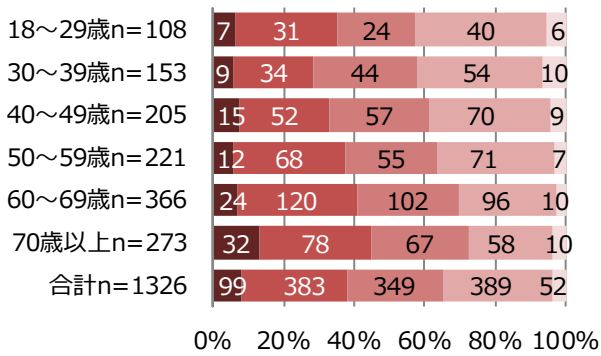
問6 再配置に関する具体的な方策

- 「施設総量の削減」では、年齢が高くなるにつれて、賛成（「大いに賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）は増加傾向にあります。特に、「50歳代～60歳代」は、約7割となっています。
- 「サービス水準の引下げ」では、年齢が高くなるにつれて、賛成は増加傾向にあります。特に、「60歳以上」は、約4割となっています。
- 「利用者負担の適正化」では、年齢が高くなるにつれて、賛成は増加傾向にあります。特に、「50歳以上」は、約4割となっています。

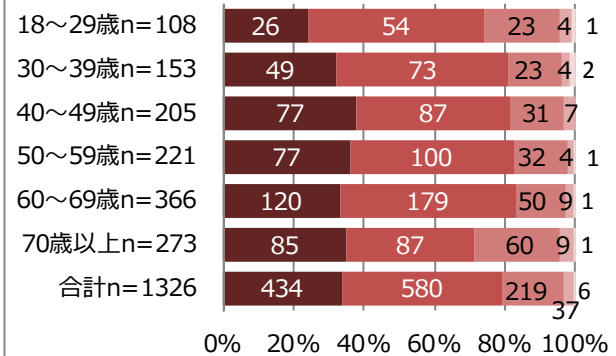
■ 大いに賛成 ■ どちらかといえば賛成 ■ よくわからない ■ どちらかといえば反対 ■ 絶対に反対



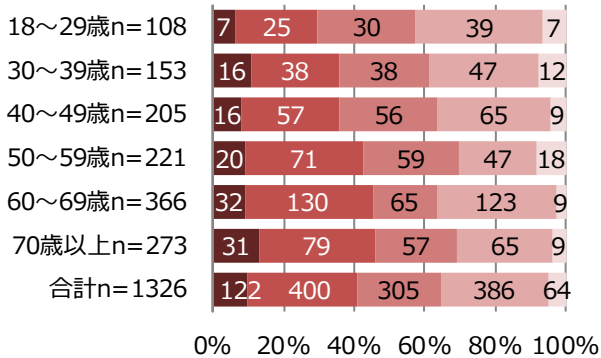
問6 ⑦ サービス水準の引き下げ



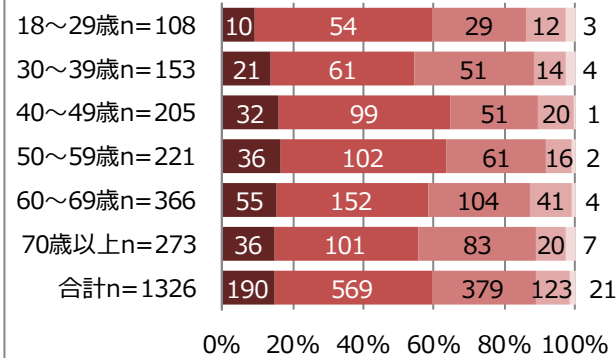
問6 ⑧ 民間へ貸付・売却



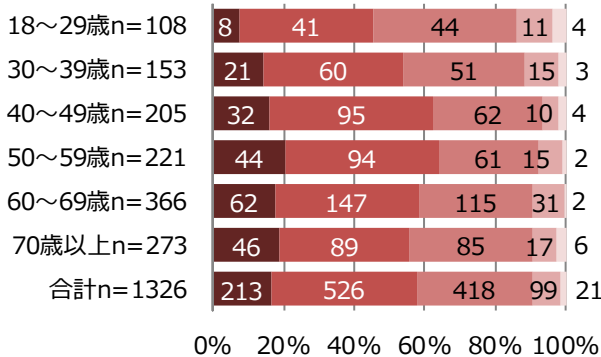
問6 ⑨ 利用者負担の適正化



問6 ⑩ 広域連携



問6 ⑪ PPP・PFIの活用

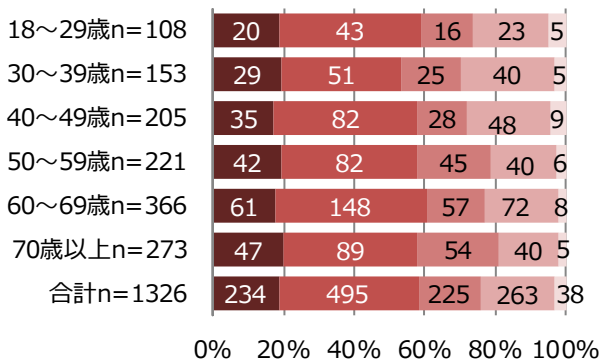


問7 施設類型ごとの再配置

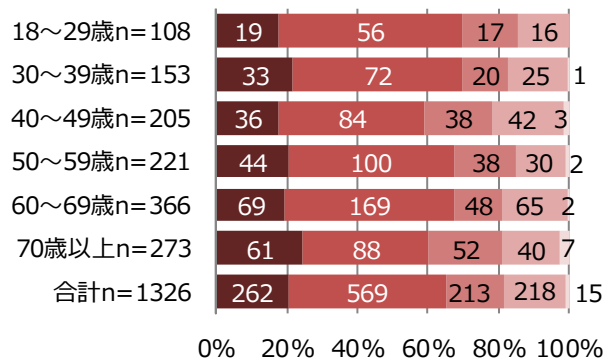
- 「児童施設」では、「18歳～30歳代」の賛成（「積極的に実施した方がよい」と「どちらかといえば実施した方がよい」の合計）が、約5割と高くなっています。一方、「40歳代～50歳代」では、約4割と低くなっています。
- 「福祉施設」では、「60歳以上」の賛成が、約5割と高くなっています。
- 「集会施設」では、「30歳代」、「50歳代」と「70歳以上」の反対（「再配置を絶対に実施すべきでない」と「どちらかといえば実施すべきでない」の合計）が、約3割と高くなっています。
- 「公園施設」では、「18歳～40歳代」と「50歳以上」で賛否に違いがあります。「18歳～40歳代」の賛成が約5割に対して、「50歳以上」の反対が、約4割となっています。

■ 再配置を積極的に実施した方がよい
 ■ どちらかといえば実施した方がよい
 ■ よくわからない
■ あまり実施すべきでない
 ■ 再配置は絶対に実施すべきでない

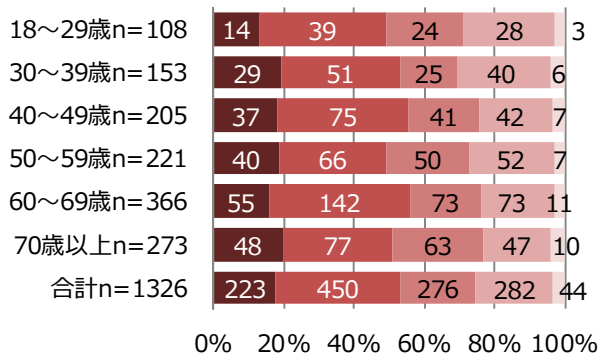
問7 A 学校施設



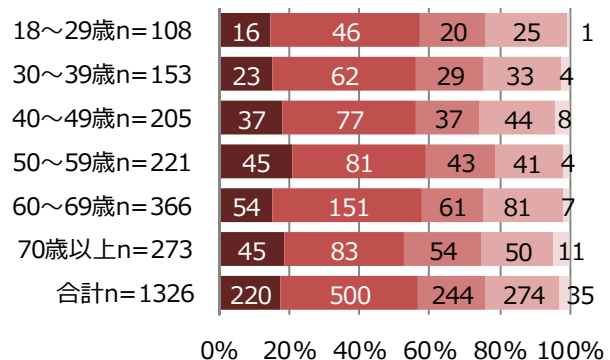
問7 B スポーツ施設



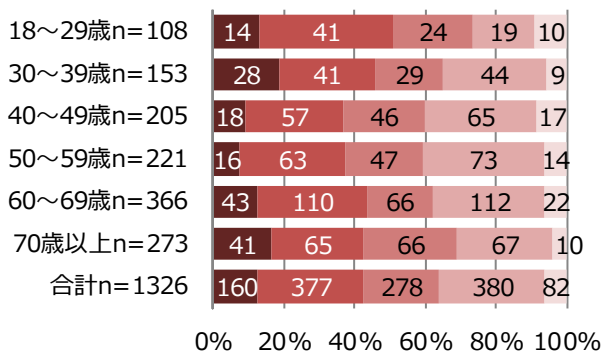
問7 C 文化施設



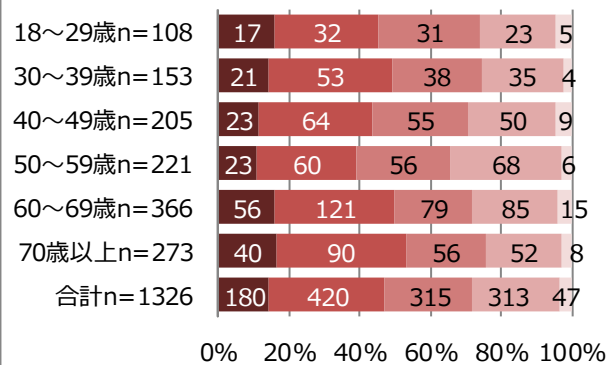
問7 D 生涯学習施設



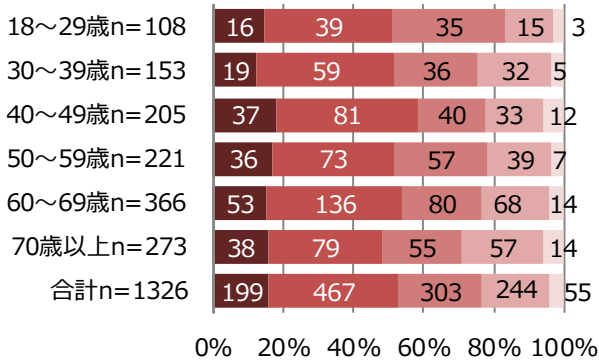
問7 E 児童施設



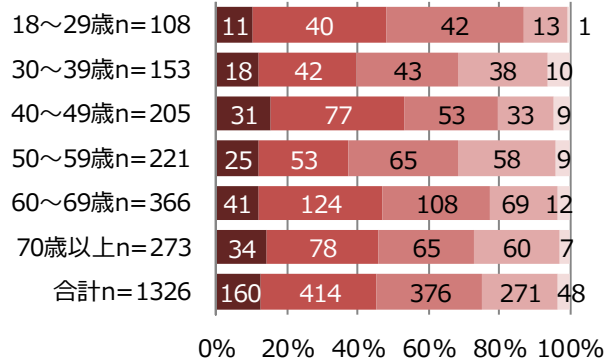
問7 F 福祉施設



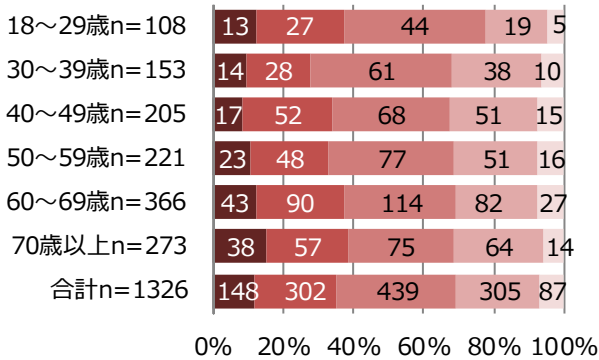
問7 G 行政施設



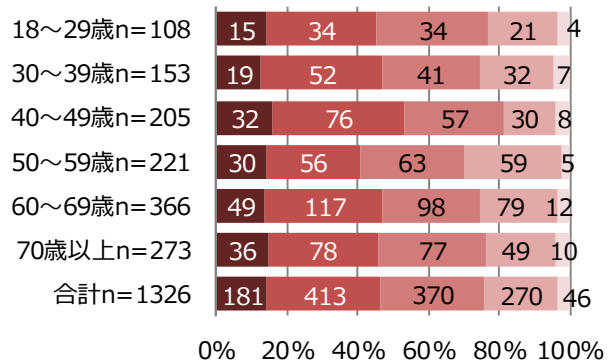
問7 H 集会施設



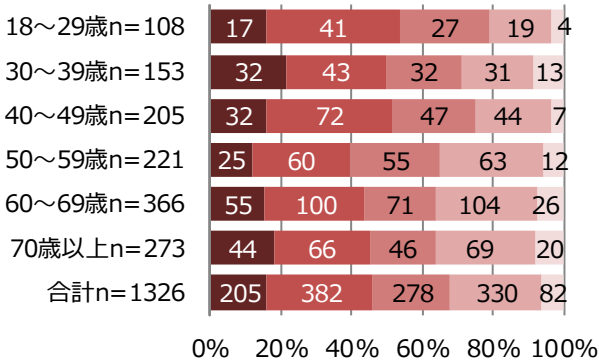
問7 I 消防施設



問7 J 観光施設



問7 K 公園施設



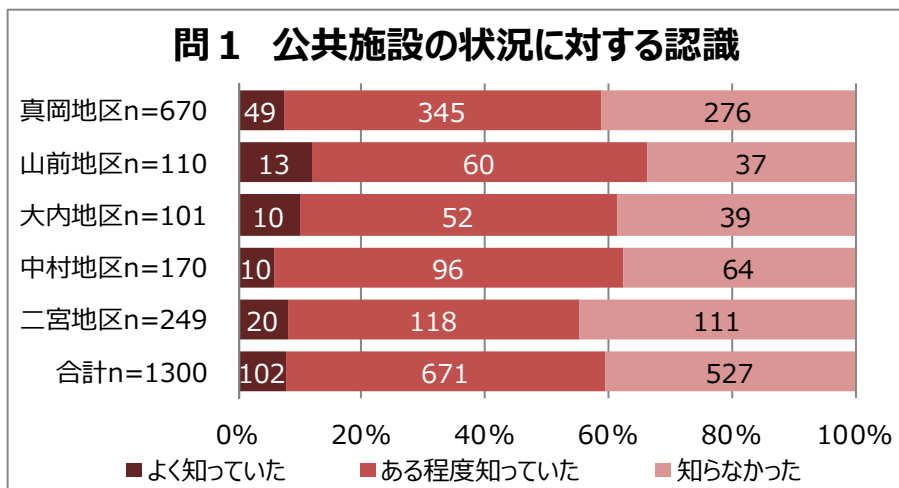
4-2. 居住地区別のクロス集計

公共施設に関する市民意識について、居住地区による傾向を分析するために、問1～問7についてクロス集計を行いました。結果は以下のとおりです。

※未回答は除いて集計しています。

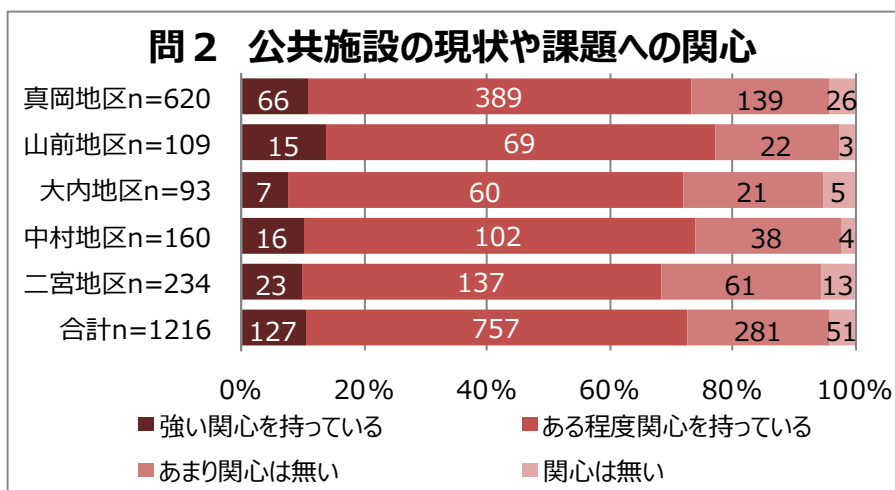
問1 公共施設の状況に対する認識

○すべての地区において、公共施設の状況に対する認識がある（「よく知っていた」と「ある程度知っていた」の合計）は、約6割と高くなっています。



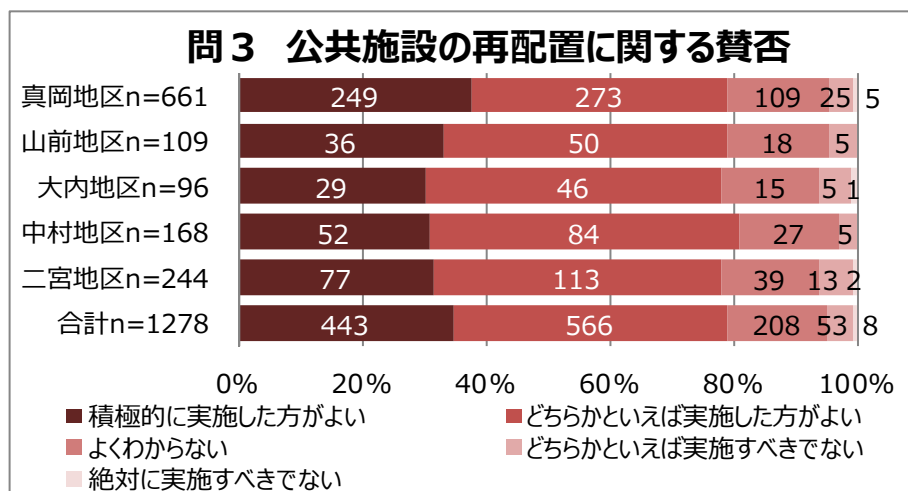
問2 公共施設の現状や課題への関心

○すべての地区において、公共施設の現状や課題への関心がある（「強い関心を持っている」と「ある程度関心を持っている」の合計）は、約7割と高くなっています。



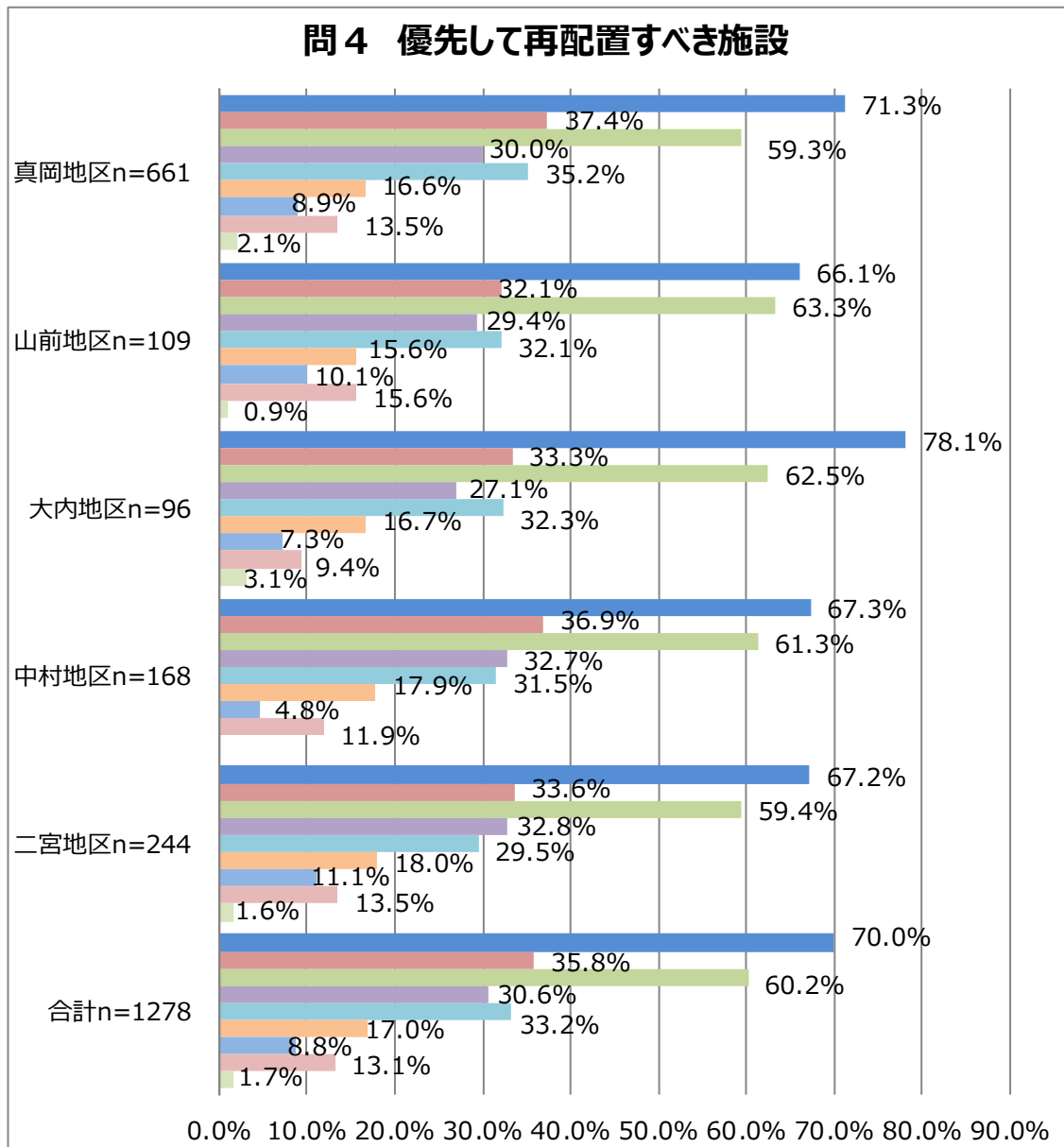
問3 公共施設の再配置に関する賛否

○すべての地区において、再配置に賛成（「積極的に実施した方がよい」と「どちらかといえば実施した方がよい」の合計）は、約8割と高くなっています。



問4 優先して再配置すべき施設

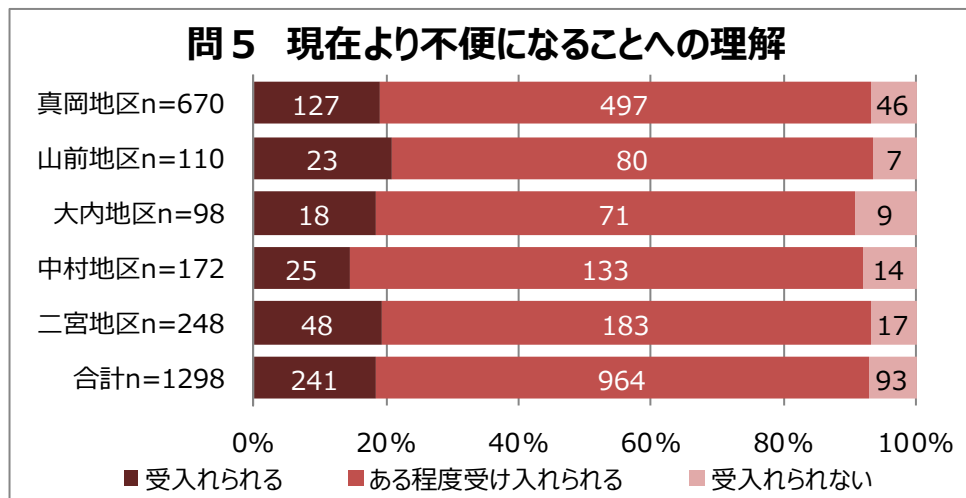
- すべての地区において、「老朽化が著しい施設」は、約7～8割と最も高く、次いで「あまり利用されていない施設」は、約6割、次いで、「耐震性の無い施設」は、3～4割となっています。
- 地区別のクロス集計では、顕著な特徴は見られませんでした。



- 老朽化が著しい施設
- あまり利用されていない施設
- 市内で機能が類似・重複している施設
- 民間施設でも同じサービスを提供している施設
- その他
- 耐震性の無い施設
- 維持管理や運営に係るコストが高い施設
- 近隣に同じような施設や代わりに使用できる施設がある施設
- 利用者が限定される施設

問5 現在より不便になることへの理解

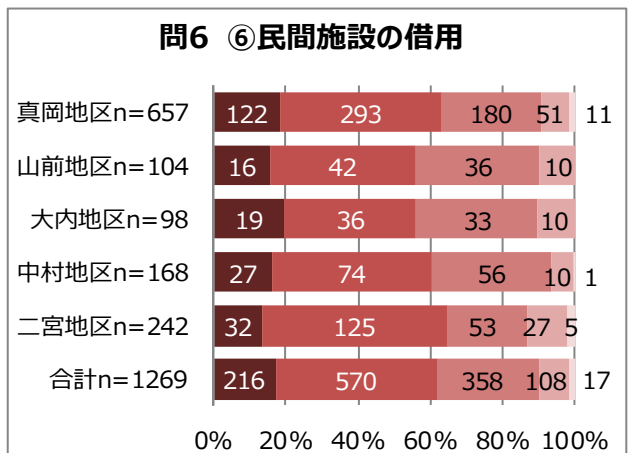
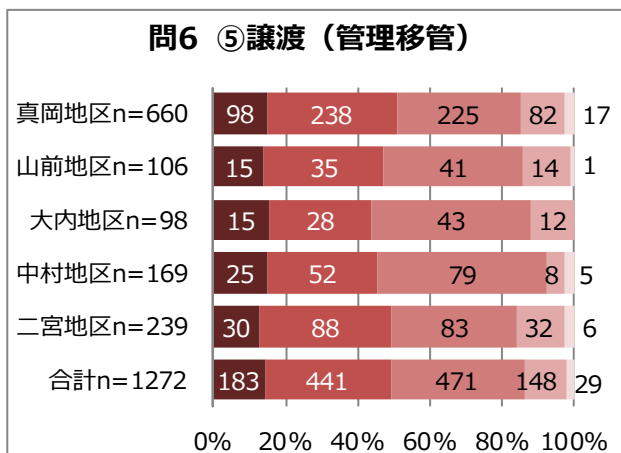
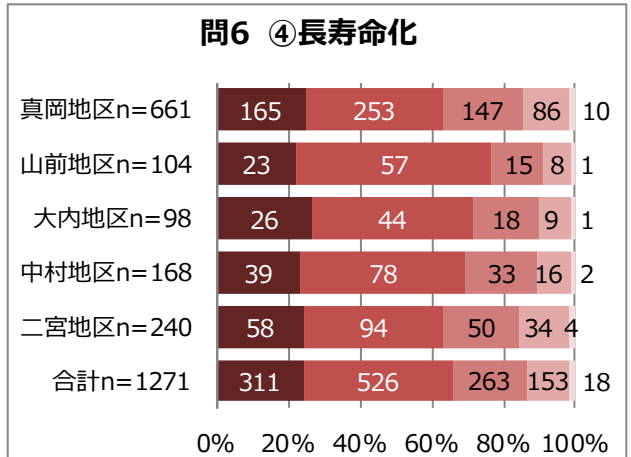
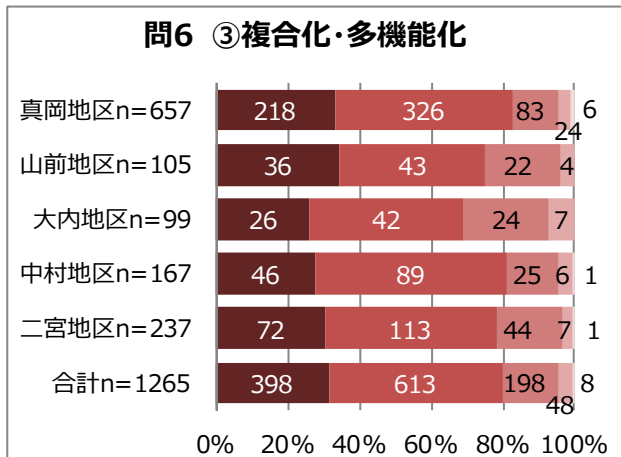
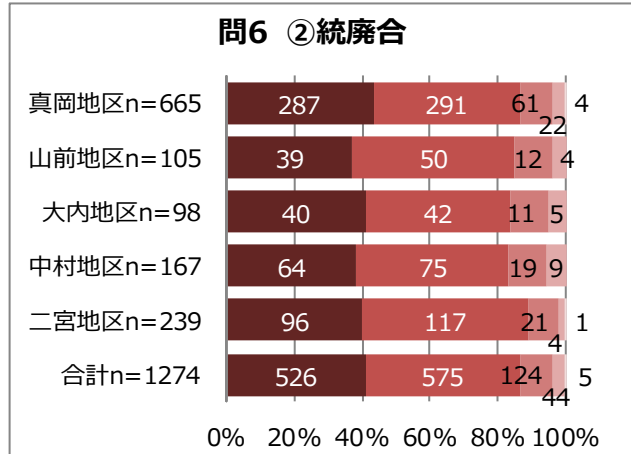
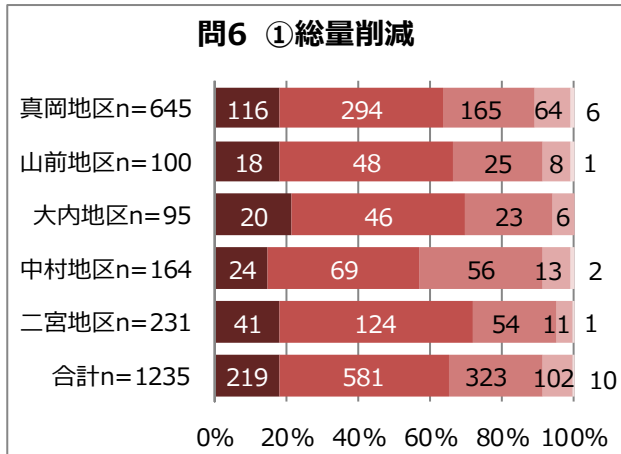
○すべての地区において、不便になることへの理解（「受け入れられる」と「ある程度受け入れられる」の合計）は、約9割と高くなっています。



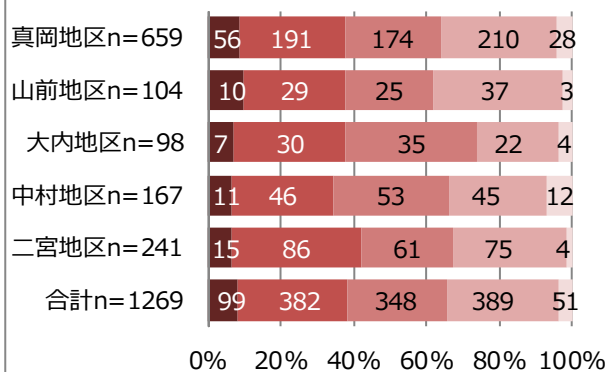
問6 再配置に関する具体的な方策

○「施設総量の削減」では、「中村地区」の賛成（「大いに賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）は、他の地区に比べ、約6割と低くなっています。

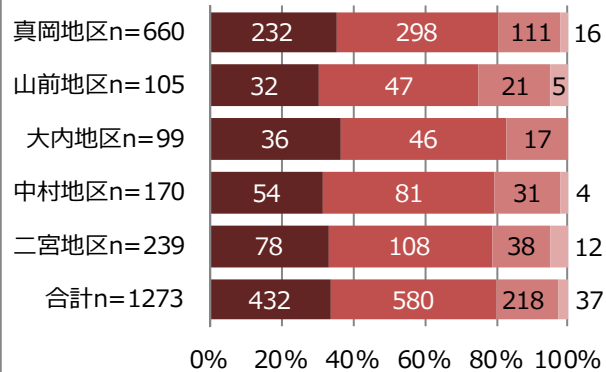
■ 大いに賛成 ■ どちらかといえば賛成 ■ よくわからない ■ どちらかといえば反対 ■ 絶対に反対



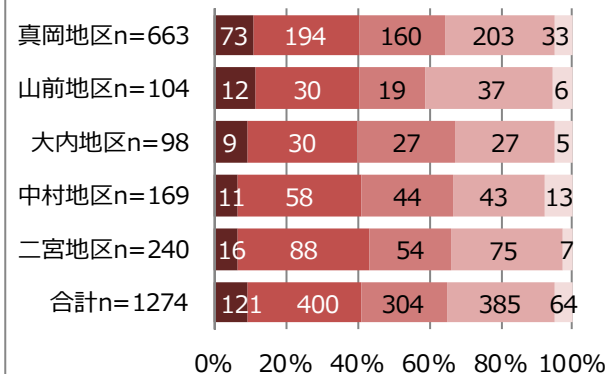
問6 ⑦サービス水準の引き下げ



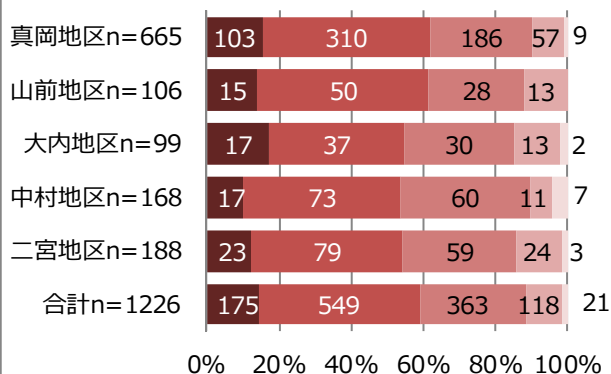
問6 ⑧民間へ貸付・売却



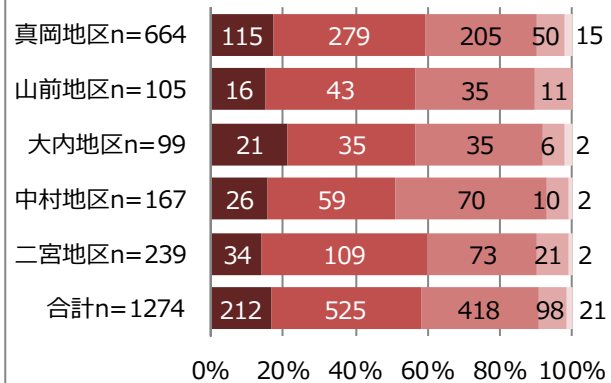
問6 ⑨利用者負担の適正化



問6 ⑩広域連携



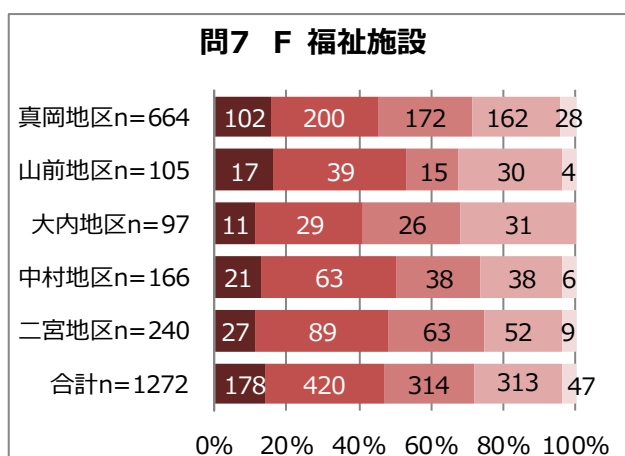
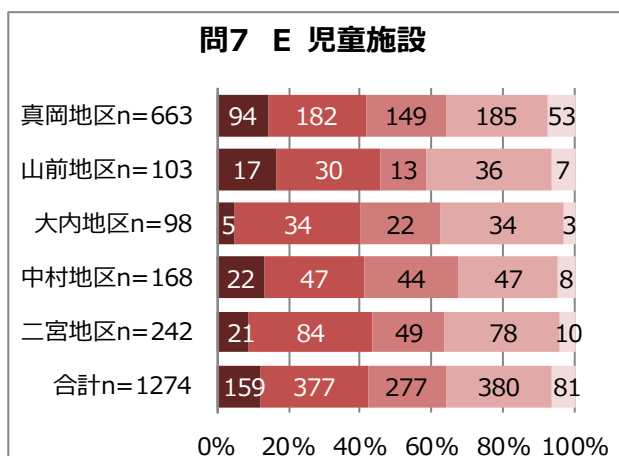
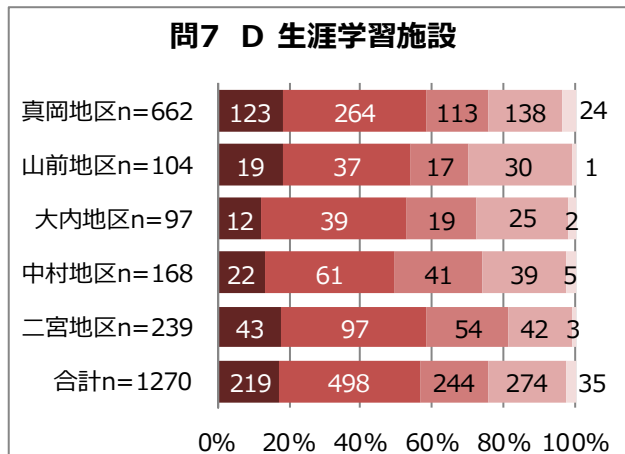
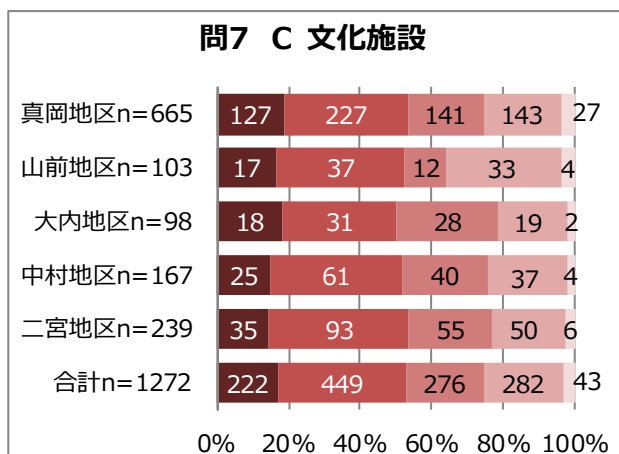
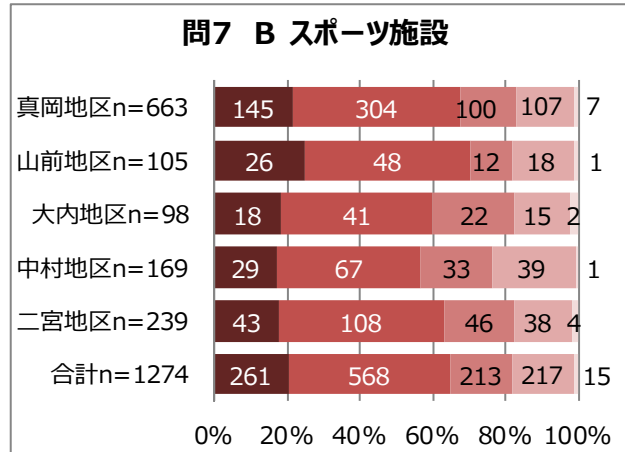
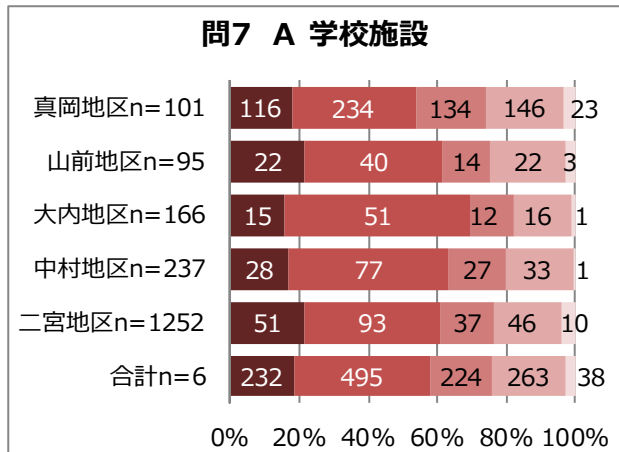
問6 ⑪PPP・PFIの活用

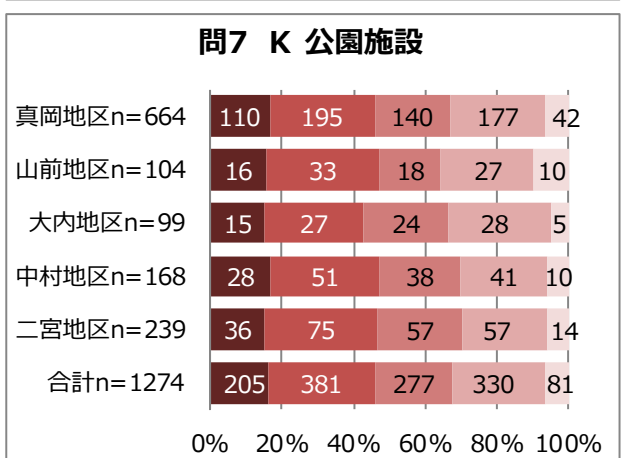
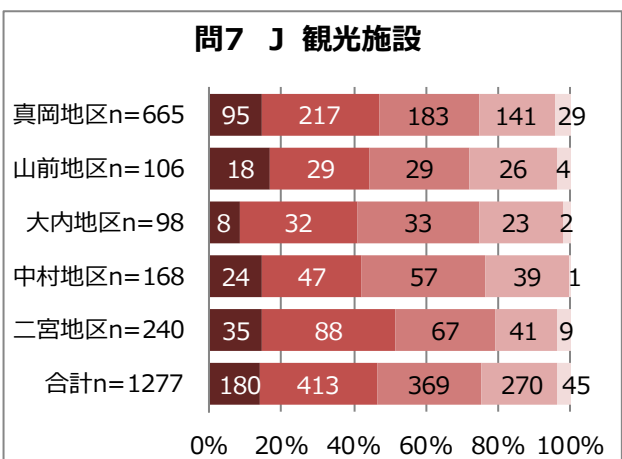
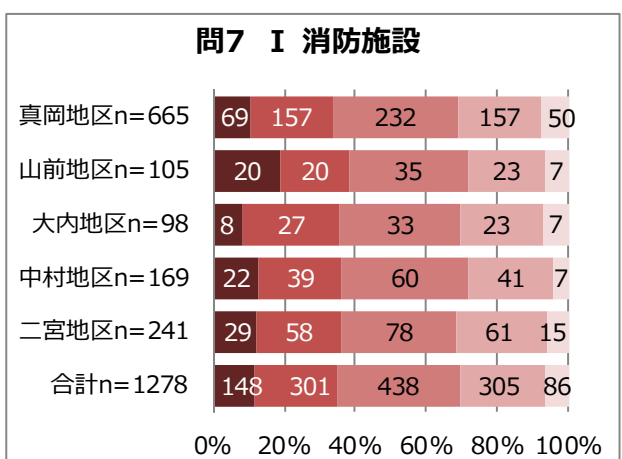
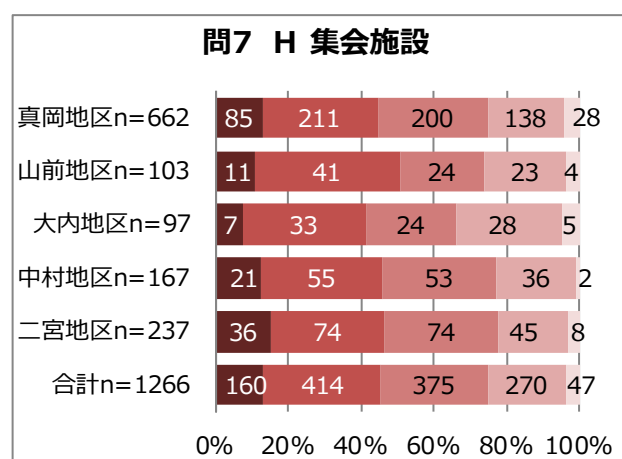
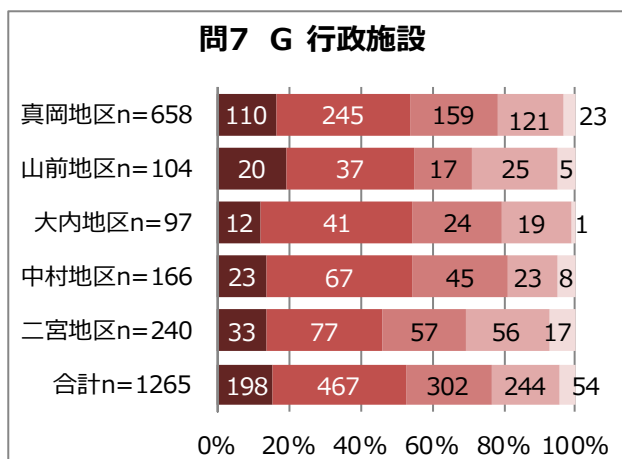


問7 施設類型ごとの再配置

- 「学校施設」では、「大内地区」の賛成（「大いに賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）が、他の地区に比べ、約7割と最も高くなっています。
- 一方、「真岡地区」では、約5割となっています。
- 「文化施設」では、「山前地区」の反対（「再配置を絶対に実施すべきでない」と「どちらかといえば実施すべきでない」の合計）が、約4割と高くなっています。

■ 再配置を積極的に実施した方がよい
 ■ どちらかといえば実施した方がよい
 ■ よくわからない
■ あまり実施すべきでない
 ■ 再配置は絶対に実施すべきでない





5. 自由意見

問9 自由意見

本事業についてご意見・ご要望等がありましたらご記入ください。【自由記述】

※施設分類ごとに、「要望・アイデア」と「不満」を整理しています。

【真岡地区】

施設分類		要望・アイデア	不満
施設全体		<ul style="list-style-type: none"> ○施設の老朽化や耐震性に問題が発生する前に再配置の取組を実施してほしい。 ○利用者の少ない施設を積極的に再配置してほしい。 ○利用度は低くても地区に必要なものもあると思うので、よく精査し、再配置をしてほしい。 ○災害時に心のよりどころとなるようにしてほしい。 ○機能が重複する施設を統合する。 ○高齢化社会になっていくので、老人・障がい者に配慮した計画にしてほしい。 ○再配置も大切だが、活性化も大切だと思う。 ○市民の目線も考慮し、再配置を行うべき。 ○施設ごとの検討も大事だが、市の全体の将来デザインを想定し、計画を実施してほしい。 ○新たに建物を建てる際、デザインではなく機能面を重視した建物にする。 ○再配置に当たり、遠方からの利用者や要介護者等に配慮する必要がある。 ○スポーツ施設、文化施設、観光施設など市内外から人を集め、使用料による収入や税収に結び付けられると良い。 ○おむつ替えや授乳室の数を増やしてほしい。 ○建物に対して、各専門業者に依頼コスト削減。 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の管理を、自治会などへ移管は反対。 ○パチンコ店等、風営法に係る人に敷地が渡るのは困るため、敷地の売却には反対。(ただし、絶対そのような人に敷地が渡らければ売却に賛成) ○屋内施設において楽器練習等の利用制限はかけないでほしい。 ○子どもと高齢者が不便になる再配置は反対。 ○五行川付近に公共施設を集約することは、川が氾濫した時、避難所として使えないため適切ではない。 ○むだな物を作りすぎている、よく考えて公共施設を作るべき。
個別施設	学校施設	<ul style="list-style-type: none"> ○児童・生徒の減少に伴う再配置を積極的に行うべき。 ○旧二宮の3つの中学校を統合し、スクールバスで登下校を行う。 ○第一学校給食センターの改修が必要。 ○空き教室を利用して、幼稚園、保育所、老人デイサービスなどの場所として活用してほしい。 ○学校を統廃合した時はスクールバスを利用できたら良いのではないかな。 	
	スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に体育館内のトレーニングセンターを民間委託してほしい。 ○トレーニングルームの環境改善。 ○スポーツ施設の老朽化が著しいため、改善をお願いしたい。 ○体育施設は分散した方が良い。 ○上三川町の「いきいきプラザ」のような施設がほしい。 	

施設分類		要望・アイデア	不満
個別施設	社会文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ○文化価値のある施設は再配置すべきではない。 ○積極的に図書館、科学館を民間委託してほしい。 ○自然教育センター、科学教育センターなど子供たちが利用する施設は廃止すべきではない。 ○金鈴荘をコスプレ会場として開放してみてもどうか。 ○青年女性会館にエレベーターを設置してほしい。 ○図書館は高齢者の憩いの場・勉強の場であるため、もっと充実してほしい。 ○社会文化施設は耐震補強のみで、今のままの形で残してほしい。 	○真岡市民会館の対応が悪い。
	児童施設	<ul style="list-style-type: none"> ○保育関連施設の充実。 ○児童施設は民間にサービスに振替た方が良い。 	○祭日や土日にも利用できる子育て支援センターを増やしてほしい。
	福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉施設は民間にサービスに振替た方が良い。 ○北真岡地区にもシルバーサロンがあると良い。 ○高齢者が増えているため、老人施設を増やす必要がある。 ○障がい者用の施設を作してほしい。 	
	行政施設	<ul style="list-style-type: none"> ○市役所の建て替え実施。 ○市役所にエレベーターを設置してほしい。 	○二宮支所に人（職員）が多すぎると思う。
	集会施設	<ul style="list-style-type: none"> ○放課後に子供たちと高齢者が集まりふれあえる施設をつくってみてはどうか。 	
	観光施設	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客増加を目指すのであれば、リピーターの増加を目指す。 ○観光サービスの向上を目指すのであれば、利便性や機能性、営業サービスの充実が重要。 ○情報センターとSLキューロク館の営業時間と駐車場の空いている時間が不統一のため、利用者の立場から非常に不便である。 ○町の中に道の駅のような施設があると良い 	
	公園施設	<ul style="list-style-type: none"> ○城山公園の施設を利用し、市内の活性化を行う。 ○井頭公園は、夏季にプール、冬季にイルミネーションなどを行い、地域のPRに使うべき。 ○幼児が遊ぶ場所が少ないため、壬生のわんぱく公園のような施設がほしい。 ○大谷台公園は夏場に噴水から水が出ているが、きれいな広場にすることで水遊びのできる公園として利用されるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公園の整備をしっかりとしてほしい。 ○トレイの整備をしてほしい。

施設分類	要望・アイデア	不満
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○税金を節約し、増税にならないようにしてほしい。 ○主要道路沿に多機能トイレを配置してほしい。 ○トイレをきれいにしてほしい。 ○ユニバーサルデザイン、バリアフリーの推進。 ○地球温暖化に目を向け、緑化活動にも力を入れてほしい。 ○路線バスの運行路を増やしてほしい。 ○真岡市の名前を売り込み、人を呼び込む。 ○施設の維持管理を市民の力を借りて実施すべき。 ○都会に出た若者に意見を聞くことで、将来若者が返ってきたくなる街になると思う。 ○LRT 延伸で宇都宮、小山へ車を使わずに行けるインフラがほしい。 ○特産品のイチゴをもっと PR すべき。 ○観光地を前面に市の活性化を行う。 ○ベリテンライブなどのイベントを増やしてほしい。 ○不燃物回収コーナーが公共施設にあると便利。 	<ul style="list-style-type: none"> ○駐車場がせまい。 ○交通の便が悪い。 ○大谷台～高勢町～工業団地への道路が近年ごみ屑だらけであり、対応してほしい。 ○公共工事を行った建設会社に感謝状や表彰状を贈呈しているが、工事費を払っているのだからやめるべきである。 ○百貨店など買い物する場所がないため若者が町から離れてしまうのでは。

【山前地区】

施設分類	要望・アイデア	不満	
施設全体	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の統廃合は賛成だが、高齢者にやさしい社会づくりをしてほしい。 ○市民の意見をよく聞き、再配置を積極的に取り組む。 ○利用していない施設や利用者が少ない施設はすぐに廃止すべき。 		
個別施設	学校施設	<ul style="list-style-type: none"> ○学校関係の施設を整備してほしい。 ○学校施設は再配置によって不便になることは問題のため、十分検討してほしい。 ○閉校する学校を有効活用してほしい。 	
	スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ○人工芝の多目的広場の早期完成を希望する。 	
	社会文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館は再配置すべきでない、むしろ増設してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化施設が分散していて使い勝手が悪い。 ○金鈴荘、大内資料館等、貴重な文化財が有効活用されていない。
	児童施設	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが習い事のできる場所がほしい。 ○児童施設は再配置によって不便になることは問題のため、十分検討してほしい。 ○少しの時間でもいいので小さな子供を預かってくれる施設があると良い。 	
	福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が集まれる場所がほしい。 ○福祉施設は再配置によって不便になることは問題のため、十分検討してほしい。 ○老人施設を作してほしい。 ○だれでも利用できる福祉施設をもう少し増やしてほしい。 	
	行政施設	<ul style="list-style-type: none"> ○市役所の耐震化工事や駐車場整備は早急にするべきである。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○大型バス→中型バス→小型バスみたいに縮小できるものは積極的に縮小すべき。 ○コットベリー号を各地区に週7回ぐらいの割合で運行してほしい。 ○市民一人一人に関心を持たせるために、各町会又は地区別に意見を提出してもらい、良い提案であれば市内報に掲載することで、モチベーションが上がり、多くの意見、提案が出るのではないか。 ○文化都市としての真岡市の魅力を発信するために施策するべきであり、集約的な文化施設建設へ向けて行政の意識改革と実行力を期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○税金の収入に比べ支出が多いと感じている。市民、地域の負担にならない対策をとるべき。 ○真岡市は公衆トイレの設置が少ない。 	

【大内地区】

施設分類		要望・アイデア	不満
施設全体		<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少など将来を見据えた視野に立って考えてほしい。 ○利用率が低い施設はすみやかに廃止・統合し、無駄な税金を使用しない。 ○本当に必要な施設を見極め、市民サービスが低下しないようにしてほしい。 ○若い世代に負担がかからないように民間の活用など、費用の削減に努めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○久保記念館、キューロク館、総合運動場など新しい施設がつけられた後に施設再配置計画の公示したことに疑問がある。
個別施設	学校施設	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の減少が多い学校など、空き教室を福祉施設などに利用できないか。 ○小・中学校の統廃合は、地域などよく検討してほしい。 	
	スポーツ施設		<ul style="list-style-type: none"> ○スケートセンターが無くなったことが残念である。
	社会文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ○市民会館の中に図書館を配置する。図書館は大きくなってよい。 	
	行政施設		<ul style="list-style-type: none"> ○市役所は狭い道路に面しており、車では市役所に入りづらい。
	公園施設	<ul style="list-style-type: none"> ○大内地区に公園が欲しい。 	
その他		<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設にどのようなものがあるか、利用できるもの等の情報があると良い。 ○農地の縛りを緩くし、土地の利用活性化を図った方が地域発展につながると思う。 ○公共交通機関の充実をするべき。 ○宇都宮にある産業学校のような資格取得ができる施設がほしい。 ○再配置するに当たり、自家用車で行けるようにしてほしい。 ○子育てしやすい市を目指してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市街地の道路ばかりではなく、農業地帯の道路（道路幅）にも目を向けてほしい。 ○公共施設の維持管理の費用について初めて知った。もっと早く統計調査を行うことはできなかったのか。

【中村地区】

施設分類	要望・アイデア	不満
施設全体	<ul style="list-style-type: none"> ○再配置はいかに利用しやすく、地域を元気にすることができるかを重点にして取り組むべきである。 ○高齢化が進むが、積極的に再配置を取り組んでほしい。 ○市民みんなが共同で使えるものを作ってほしい。 ○再配置は、市役所周辺に集約すべき。 ○再配置には市民の意見をよく聞くべき。 ○高齢社会になっていくため、バリアフリーの施設を一番に考えた方が良いと思う。 ○施設を利用する人のことも考えて再配置をしてほしい。 ○文化施設、スポーツ施設の再配置は受け入れられるが、消防施設、福祉施設、児童施設、行政施設は再配置してほしくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定の団体に優先的に貸出するなど公平性のない施設がある。
個別施設	<p>学校施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中村東、中村南小学校の今後の活用方法として、コミュニティセンターなどに活用できないか。 ○人数の少ない小学校は廃校し、スクールバスを運行すると良い。 ○公共施設の建て替えは最新の技術を取り入れるべき。 ○子ども連れや高齢者にやさしい施設を増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校の統廃合が実施されるが、市民が提案しても受け入れられない現状ではないか。
	<p>スポーツ施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合運動公園は利用料を取った方が良いのでは。 ○上三川市にあるような総合運動施設がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他市の人が真岡市の知り合いを通して使用許可をとり、無料で使用している例が数多くある。
	<p>社会文化施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ○二宮コミュニティセンターはスペースにたいして働いている人が少ないと感じる、そのため、一部の部署を移しても良いのでは。 	
	<p>行政施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市役所を新しくしてほしい。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○真岡市ばかりではなく、農村部にも目を向け、市民の声を聴いてほしい。 ○トイレをきれいにすべき。 ○再配置に当たり、公共交通を充実させることで施設利用の減少は起こらないと思う。 ○子どもと高齢者が安心して暮らせるまちづくりをしてほしい。 ○閉店したパチンコ店の建物が残っており、景観が悪い。条例で施設のリサイクル費用を徴収すべき。 ○施設の見直しだけでなく、職員の働き方も見直すべき。 ○高齢者の運転を減らすために、無料のタクシー券を配布すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ○再配置より、他に無駄なものをなくすべき。 ○真岡地区以外の状況を把握し、よりよい真岡市にしてほしい。 ○真岡市は何を目指しているのか不明確である。市の大きな目標を掲げてほしい。

【二宮地区】

施設分類	要望・アイデア	不満
施設全体	<ul style="list-style-type: none"> ○再配置に取り組むに当たり、地元の要望も聞いてほしい。 ○各施設において、ある程度利益を得られるよう、料金設定を行い、サービスを充実させ、単独でも運営できるようにする。 ○利用頻度の少ない施設は再配置した方がよい。 ○稼働率の低い公園、文化施設、スポーツ施設は再配置すべき。 ○子どもと高齢者向けの施設は再配置をしない方がよいが、利便性が格段に上がるのであれば配置をしてもよい。 ○民間活力の導入は中心市街地で行い、郊外は細々とでも維持した方がよい。 ○市民に金銭的な負担を与えず、全ての施設を維持していけるような財政を市長に考えてほしい。 ○子から高齢者まで交流でき、市への意見、相談ができる場所があるとよい。 ○不便にならない程度に統合すべき。 ○老朽化がひどい施設は補修し、位置は変えない方がよい。 ○思い切って行わないと財政が勿体ないと思う。 ○利用率の少ない施設は再配置し、必要となる施設は存続させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○再配置をするに当たり市民税などの増税が気になる。 ○真岡市ばかり発展させるのではなく、旧二宮町の建物を活用すべき。 ○真岡市に施設が集中している為、真岡市の末端に住む人には不便であり、よく考えてほしい。 ○物部地区から公共施設は遠く、全くとっていいほど利用していない。
個別施設	<ul style="list-style-type: none"> ○公園で遊んでいる子供が少ない為、学校のグラウンドを開放してはどうか。 ○学校の建物、グラウンドを幅広く活用できる方法を考えてほしい。 ○旧長沼北小学校の有効活用を検討してほしい。 ○小中学校の統廃合を早急にすべき。 ○廃校になった施設は、子育て、老後、避難場所の機能を兼ね備えた施設にしてみてもどうか。 ○学校施設は再配置をしない。 ○廃校になった学校のグラウンドは自由に使えるようにしてほしい。 ○小中学校が統廃合することは悲しいが、少子化のためしかたない。 	
スポーツ施設		<ul style="list-style-type: none"> ○二宮体育館の修理を行ってほしい。
社会文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ○市民会館は必要だと思うが、資料館は利用しないため必要ではない。 ○歴史的な資料館などは、なるべくそのままに近い状態で残すべきだと思う。 ○二宮分館の廃止はやめてほしい。 	
児童施設	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもを預けられる場所があれば、共働きが可能である。 	

施設分類	要望・アイデア	不満
個別施設	福祉施設 ○敷地が広く、建物が余っているなら温泉施設を作ってはどうか。	
	行政施設 ○旧二宮町の住民は真岡市役所が遠い為、二宮支所を廃止にしてほしくない。 ○行政施設は再配置をしない。	
	観光施設 ○道の駅にのみやは利用者の割にスペースが小規模だと思う。売り上げを伸ばすために投資してはどうか。	
	インフラ施設 ○長沼地区に上水道の施設を早期に行い、安全な水道水の提供を希望する。	
	公園施設 ○井頭公園の充実	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○事件が多い時代ため、公衆トイレは少なくすべき。 ○再配置に当たり、事前に周知が十分であれば市民は納得すると思う。 ○建替え時にはバリアフリーを推進してほしい。 ○「真岡市夏祭り」と「尊徳夏祭り」の花火大会を1つにし、県内でも有数の盛大な花火大会にしてほしい。 ○高齢につき歩くことが困難であり、買い物に行くことが困難な為、対策をお願いしたい。 ○住民に少しずつ情報を発信し、再配置を進めてほしい。 ○コットベリー号が物部の方に来てくれるとありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○イチゴタクシーを利用したいが、茨城の方に行かないため困っている。 ○災害無線がうるさい。 ○総合管理計画の 1,2 ページの棒グラフが良く分からない。 ○現状の状態が分からないままアンケートを依頼されても困る。

6. 参考資料
アンケート票

**真岡市の公共施設に関する
アンケート**

平成 29 年 8 月
真岡市

アンケートにご協力ください

市民の皆様へ

日ごろより、市政に対しご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

真岡市では、公共施設の管理を総合的に推進し、効果的かつ効率的に質の高い公共サービスを提供するため、今後 40 年間の基本的な方針を示す「真岡市公共施設等総合管理計画」を平成 29 年 3 月に策定しました。今回、同封しました概要版のほか、詳細につきましては市ホームページに掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。

平成 28 年度に行った調査・分析においては、今後すべての公共施設を現状のまま維持更新していくことは財政的に困難となることが想定されており、現在、真岡市では、公共施設における維持・更新費用の抑制を目的として、各公共施設のより具体的な方向性を示す「真岡市公共施設再配置計画」の策定に取り組んでいます。

この度は、この計画策定にあたり、市民の皆様からのご意見をお伺いし、今後の真岡市の取り組みに反映させるため、アンケートを実施することとしました。未来の真岡市のことを考え、お答えいただけますと幸いです。ぜひご協力をお願い申し上げます。

平成 29 年 8 月

真岡市長 石坂 真一

ご回答にあたって

◇このアンケートは真岡市が直接行うものです。電話などで個人情報などを聞き出すことはありません。

◇本アンケートは無記名ですので、お名前を記入する必要はありません。また、回答結果はすべて統計的に処理されますので、回答内容が他人に知られることはありません。

◇このアンケートは、18 歳以上の市民の皆様から、無作為に抽出した 3,000 人を対象に送付させていただきました。

◇このアンケートは、平成 29 年 7 月末の住民票を基準としておりますが、転出等の理由で記入が難しい状況にある方へ届いた場合、この通知を受け取ったご家族の方が代理で記入されても問題ありません。

◇このアンケート用紙へ回答を記入したあと、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、お近くの郵便ポストへ投かんをお願いいたします。

◇投かん期限 **平成 29 年 9 月 19 日(火)まで** 当日消印有効

真岡市の公共施設をとりまく現状について

※同封の「真岡市公共施設等総合管理計画 概要版パンフレット」をご覧くださいからお答えください。

【問1】

真岡市では現在、昭和40～50年代に建設された多くの公共施設が老朽化し、大規模改修や建て替え等の更新時期を迎えており、今後、すべての公共施設をこれまでと同じように維持・更新していくことは、財政的に困難であるとの推計結果が出ています。

あなたは、真岡市のこのような状況を以前からご存知でしたか？次の1～3から1つ選び、番号に○を付けてください。

- | | | |
|------------|--------------|-----------|
| 1. よく知っていた | 2. ある程度知っていた | 3. 知らなかった |
|------------|--------------|-----------|

【問2】

同封の「真岡市公共施設等総合管理計画 概要版パンフレット」に書かれている真岡市の現状や課題について、あなたは、どのくらい関心をお持ちになりましたか？次の1～4から1つ選び、番号に○を付けてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 強い関心を持っている | 2. ある程度は関心を持っている |
| 3. あまり関心はない | 4. 関心はない |

公共施設の再配置について

【問3】

真岡市では、将来にわたる維持管理・更新費用の軽減を図るため、公共施設の再配置（下記の説明参照）を推進していく必要があります。

この「公共施設の再配置」について、あなたの考えに近いものを次の1～5から1つ選び、番号に○を付けてください。

1. 公共施設の再配置は、積極的に実施した方がよい
2. 公共施設の再配置は、どちらかといえば実施した方がよい
3. よくわからない
4. 公共施設の再配置は、どちらかといえば実施すべきでない
5. 公共施設の再配置は、絶対に実施すべきでない

公共施設の再配置とは

公共施設の統廃合や複合化を進めることにより、将来更新等費用の負担軽減を目指します。なお、住民サービスに欠かせない重要な施設については、長寿命化により将来の建替え時期を遅らせることで、長期的に費用負担の軽減を図ります。

統廃合		<p>同じ種類の施設を統合し、 一体の施設として整備する。</p> <p>【例】 学校+学校 公民館+公民館 体育館+体育館など</p>
複合化 (多機能化)		<p>異なる種類の施設を集約し、 複合施設として整備する。</p> <p>【例】 公民館+図書館 公民館+福祉施設 児童施設+福祉施設など</p>
転用		<p>既存の公共施設を改修し、 他の施設として整備する。</p> <p>【例】 学校→福祉施設 未利用施設→売却など</p>
長寿命化 (存続)		<p>建物等の不具合を直し、 機能や耐久性を向上させる。</p> <p>【例】 耐震補強、事故防止対策 腐食・劣化防止対策など</p>

再配置に関連する具体的な方策について

【問6】

公共施設の再配置に関連する具体的な方策について、どのような考え方を重視すべきと考えますか？

下記の方策例について、あなたの考えに近いものを右欄の1～5から1つずつ選び、番号に○を付けてください。

	1 大いに賛成	2 どちらかといえば賛成	3 よくわからない	4 どちらかといえば反対	5 絶対に反対
(記入例) 再配置に関する方策として○○○を○○○する	1	2	3	4	5
① 施設の総量（施設数、延床面積）を減らす	1	2	3	4	5
② 施設の統廃合を実施する （機能が重複する施設や利用者が少ない施設等）	1	2	3	4	5
③ 施設の複合化や多機能化を実施する （大規模修繕や建替え時に、近隣施設や同種・類似施設等）	1	2	3	4	5
④ 適切な修繕等により長持ちさせて、できるだけ建替えを行わない（長寿命化）	1	2	3	4	5
⑤ 地域自治会や民間団体へ施設を譲渡（管理移管）する	1	2	3	4	5
⑥ 民間施設を借りて市のサービスを提供すること	1	2	3	4	5
⑦ 公共施設の施設サービスの水準を下げる （利用に支障がない範囲で）	1	2	3	4	5
⑧ 利用を停止する施設は、民間への貸出しや売却などを行う	1	2	3	4	5
⑨ 利用者負担の適正化を行う（使用料の値上げ等）	1	2	3	4	5
⑩ 近隣の自治体と共同で、施設の建設や維持管理・運営を行う （広域連携）	1	2	3	4	5
⑪ 民間に維持管理を任せるなど、民間の技術や資金を活用する （PPP・PFIの活用）	1	2	3	4	5

施設類型ごとの再配置について

【問7】

真岡市の公共施設について、施設類型ごとに再配置の推進（統廃合や複合化など）を考えた場合、あなたの考えに近いものを右欄の1～5から1つずつ選び、番号に○を付けてください。

1 再配置を積極的に実施した方がよい	2 どちらかといえば実施した方がよい	3 よくわからない	4 あまり実施すべきでない	5 再配置は絶対に実施すべきでない
-----------------------	-----------------------	--------------	------------------	----------------------

(記入例) 施設分類	主な施設名	1	2	3	4	5
A 学校施設	小学校、中学校、給食センター	1	2	3	4	5
B スポーツ施設	総合体育館、武道体育館、スポーツ交流館、附属体育館、二宮体育館、地域体育館、弓道場など	1	2	3	4	5
C 社会文化施設 (文化施設)	市民会館、久保講堂、金鈴荘、大内資料館、二宮尊徳資料館、桜町陣屋、歴史資料保存館など	1	2	3	4	5
D 社会文化施設 (生涯学習施設)	図書館、生涯学習館、市民館、各分館、青年女性会館、自然教育センター、にのみや野外活動センター、根本山自然観察センター、鬼怒水辺観察センターなど	1	2	3	4	5
E 児童施設	各留守家庭児童会館、真岡・西田井・中村・物部各保育所、子育て支援センター	1	2	3	4	5
F 福祉施設	総合福祉保健センター、二宮保健センター、シルバー人材センター、老人憩いの家、シルバーサロンなど	1	2	3	4	5
G 行政施設	市役所本庁舎、二宮支所、真岡駅、情報センター、芳賀地区広域行政センター など	1	2	3	4	5
H 集会施設 (物産館等)	二宮尊徳物産館（道の駅にのみや）、農産物販売兼集会所、あぐりっ娘	1	2	3	4	5
I 消防施設	消防会館、水防倉庫	1	2	3	4	5
K 観光施設	真岡木綿会館、久保記念観光文化交流館、SL キューロク館、久下田駅前どんとこい広場など	1	2	3	4	5
L 公園施設	公園トイレ、あずまや、公衆便所 等	1	2	3	4	5